

## 設置計画の概要

事 項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部の学科の設置
フリガナ者	コリツダ <sup>リ</sup> ガ <sup>ナ</sup> ジン キ <sup>フ</sup> ダ <sup>イ</sup> ガ <sup>ク</sup> 国立大学法人 岐阜大学
フリガナ称	ギ <sup>フ</sup> ダ <sup>イ</sup> ガ <sup>ク</sup> 岐阜大学(Gifu University)
新設学部等において養成する人材像	<p>【機械工学科】</p> <p>① 機械工学の基幹分野に重点を置いた機械システム工学科と人間と環境に優しいロボティクスに重点を置いた人間情報システム工学科を融合し、これまでのモノづくり技術を環境にも配慮した技術へと発展させ、持続可能な社会の形成に参画できる人材を養成するための専門的教育を行う。</p> <p>② 機械工学の各分野を系統的に教育し、新たな分野に適応できる基礎学力及び国際的に活躍できる力を身につけさせ、安全で環境や人間に優しい機械を実現するための技術開発に取り組み、課題を探究して解決できる能力を習得させる。</p> <p>③ 卒業後は、大学院進学や民間企業（自動車、鉄道、航空機等の輸送機械製造業、工作機械製造業、電子部品製造業などの分野）で技術者としての活躍が期待される。</p> <p>【化学・生命工学科】</p> <p>① 広く化学系の分子・物質を合成することに興味を持つ学生を対象とする。広く化学の基礎を習得させた後、各人の適性と興味に適合したコースごとに専門的な教育を行う。物質化学コースでは、物質合成や材料開発ならびにその構造及び性質・機能の解明に必要な幅広い知識と技術を習得させ、物質・材料関連分野で活躍できる人材を育成する。生命化学コースでは、生体関連分子の構造や機能を解明するために必要な幅広い知識と技術を習得させ、生命化学関連分野の技術開発や産業で活躍できる人材を育成する。</p> <p>② 化学を基盤に物質・材料関連分野あるいは生命化学関連分野のさまざまな問題に取り組むことができ、また新素材や医薬品の開発等の幅広い分野で活躍することができる人間性豊かで創造性に富む人材を育成する。そのために、基礎知識ならびに技術の習得とともに、研究開発のための情報を探索・収集する能力、研究を計画し実行する能力、他者と情報を共有し協力しあえる能力、成果の発表能力を習得させる。また化学の広い分野を習得することで、生涯にわたって新しい分野に適応可能な自己研鑽能力をもった人材育成を目指す。</p> <p>③ 卒業後は、大学院進学や民間企業（新素材や医薬品の開発製造、さらにはエネルギーや環境技術に至るまで幅広い分野）での技術者としての活躍が期待される。</p> <p>【電気電子・情報工学科】</p> <p>① 電気電子・情報工学科は、エレクトロニクス、電気エネルギー、情報通信とその関連産業を支える電気電子工学分野、情報社会を支える情報工学分野、次世代技術を切り拓く応用物理分野を対象とした教育を行う。</p> <p>② 電気電子コースでは、電気電子工学を中核としてその基礎および周辺分野において確かな基礎力と柔軟な思考力を持ち、ハードウェアとソフトウェアの両面に精通し、社会への責任を自覚する電気電子技術者や研究者を養成する。</p> <p>③ 情報コースでは、情報工学分野およびその周辺の分野の広い見識と学力、情報技術者として必要なプログラミング能力、次世代情報処理技術の開発が可能な創造力、社会的な立場で情報技術を正しく使える倫理観と判断力を持った技術者を育成する。</p> <p>④ 応用物理コースでは、現代の科学技術を支える物理学および数理工学の基礎と応用に関する専門的能力を持ち、電気電子・情報系を主とする応用物理関連分野において創造的な課題探求と的確な問題解決ができる技術者を育成する。</p> <p>⑤ 卒業後は、大学院進学や民間企業（主にエレクトロニクス、エネルギー、情報通信業、理工学系の分野）での技術者としての活躍が期待される。</p>
既設学部等において養成する人材像	<p>【機械システム工学科】</p> <p>我が国の技術立国としての地位を支える創造力豊かな機械技術者を育成するため、材料力学、流体工学、熱工学、機械力学、生産加工などの基幹分野に重点を置いた、最新の機械工学の理論とその応用技術に関する教育研究を実施し、人間性豊かで創造力に富んだ技術者の育成を目指す。</p> <p>【人間情報システム工学科】</p> <p>人間情報システム工学は、人間と環境に優しい知能・機械・情報のシステムづくりのための新しい学問である。生体情報工学や人間支援工学を中心に、情報・制御・計測・ロボティクス・エネルギー変換技術を融合した人間情報システムの教育研究を実施し、人間性豊かで創造力に富んだ技術者の育成を目指す。</p> <p>【応用化学科】</p> <p>様々な化学関連分野の本質的かつ基礎的概念を分野横断的・総合的に教育します。さらに質、量ともに多様である物質の製造などに関する教育研究を実施し、人間性豊かで創造力に富んだ人材の育成を目指します。</p> <p>【生命工学科】</p> <p>洗練された生物機能を科学的に解明し、工学的に利用するバイオサイエンス・バイオテクノロジーの基礎から応用までの化学と生物学に関する幅広い教育を行い、生命科学を基礎とした新たな産業基盤を構築するための教育研究を実施し、人間性豊かで探究心や創造性に富む技術者の育成を目指します。</p>

<p>既設学部等において養成する人材像</p>	<p>【機能材料工学科】 物質の性質や機能を解明するとともに、セラミックス、有機材料、分子複合材料及び電子材料に関して、材料の合成、構造の解明、機能評価、加工に精通し、環境への調和を図ることのできる新しい機能材料に関する教育研究を実施し、人間性豊かで創造力に富んだ技術者の育成を目指します。</p> <p>【電気電子工学科】 環境問題、エネルギー問題、IT（情報通信技術）革命など、現代社会が近未来に解決すべき問題、課題に応える中核技術として、エレクトロニクス、電気・電子物性、情報システムに関する教育研究を実施し、人間性豊かで創造力に富んだ人材の育成を目指します。</p> <p>【応用情報学科】 情報処理手法の高度化、情報ネットワークによる新機能の追求、新しい情報空間創出など、人間生活を支援する次世代情報処理技術、ヒューマンインターフェース技術を担える人材の育成を目指し、情報科学の基礎理解力、ものづくりを担える技術力、社会的視野を持った思考力を身に付けられる教育研究を実施し、人間性豊かで創造力に富んだ技術者の育成を目指します。</p> <p>【数理デザイン工学科】 数学と物理に加えて計算理工学への深い理解、及び高度な数値シミュレーション技術に基づいた、応用数理・ナノテクノロジー・計算科学などの分野横断的な教育研究を実施し、特定の工学分野の枠を越えて現代社会が直面する多様な諸問題に対応できる柔軟で創造的な数理技術者の育成を目指します。</p>
<p>新設学部等において取得可能な資格</p>	<p>【全学科】 ・安全管理者 ① 国家資格、② 受験資格取得可能 ③ 工学部卒業生で、その後2年以上産業安全の実務を経験した者であって、厚生労働大臣の定める研修を修了した者</p> <p>【電気電子・情報工学科（応用物理コース）を除く全学科】 ・高等学校教諭一種（工業） ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【機械工学科（機械コース）】 ・ボイラー・タービン主任技術者 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 機械コースを選択し卒業した者で、6年以上の実務経験を有する者</p> <p>【化学・生命工学科】 ・危険物取扱者 ① 国家資格、② 甲種危険物取扱者試験の受験可能 ③ 物質化学コースを選択し卒業した者又は受験資格に必要な化学に関する授業科目を15単位以上修得した者</p> <p>【化学・生命工学科】 ・毒劇物取扱責任者 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 物質化学コースを選択し卒業した者又は化学と記載されている授業科目を28単位以上修得し卒業した者</p> <p>【電気電子・情報工学科（応用物理コース）】 ・高等学校教諭一種（数学） ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【電気電子・情報工学科（電気電子コース）】 ・電気主任技術者 ① 国家資格、② 所定の単位を取得し、卒業後の実務経験年数により資格取得可能 ③ 所定の単位を修得し、卒業後実務経験年数により申請</p>
<p>既設学部等において取得可能な資格</p>	<p>【数理デザイン工学科を除く全学科】 ・高等学校教諭一種（工業） ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【機械システム工学科】 ・ボイラー・タービン主任技術者 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 機械コースを選択し卒業した者で、6年以上の実務経験を有する者</p> <p>【応用化学科、生命工学科、機能材料工学科】 ・危険物取扱者 ① 国家資格、② 甲種危険物取扱者試験の受験可能 ③ 物質化学コースを選択し卒業した者又は受験資格に必要な化学に関する授業科目を15単位以上修得した者</p> <p>【応用化学科、生命工学科、機能材料工学科】 ・毒劇物取扱責任者 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 物質化学コースを選択し卒業した者又は化学と記載されている授業科目を28単位以上修得し卒業した者</p> <p>【電気電子工学科】 ・電気主任技術者 ① 国家資格、② 所定の単位を取得し、卒業後の実務経験年数により資格取得可能 ③ 所定の単位を修得し、卒業後実務経験年数により申請</p> <p>【数理デザイン工学科】 ・高等学校教諭一種（数学） ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p>

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元		助教以上
	工学部 [Faculty of Engineering]											
既設学部等の概要 (現在の状況)	工学部	機械システム工学科 (廃止)	4	65		260	学士(工学)	工学関係	平成9年4月	機械システム工学科	20	9
										退職	5	3
										計	25	12
										化学・生命工学科	19	7
		応用化学科 (廃止)	4	55		220	学士(工学)	工学関係	平成14年4月	退職	3	2
										計	22	9
		電気電子工学科 (廃止)	4	60		240	学士(工学)	工学関係	平成9年4月	電気電子・情報工学科	16	5
										退職	4	2
	計	20	7									
	生命工学科 (廃止)	4	60		240	学士(工学)	工学関係	平成9年4月	化学・生命工学科	15	3	
									退職	3	3	
	計	18	6									
応用情報学科 (廃止)	4	70		280	学士(工学)	工学関係	平成9年4月	電気電子・情報工学科	17	5		
								退職	4	4		
計	21	9										
機能材料工学科 (廃止)	4	55		220	学士(工学)	工学関係	平成14年4月	化学・生命工学科	17	6		
								電気電子・情報工学科	3	2		
退職	1	1										
計	21	9										
人間情報システム工学科 (廃止)	4	50		200	学士(工学)	工学関係	平成14年4月	機械工学科	12	3		
								電気電子・情報工学科	4	1		
退職	2	2										
計	18	6										
数理デザイン工学科 (廃止)	4	35		140	学士(工学)	工学関係	平成14年4月	機械工学科	2	1		
								電気電子・情報工学科	15	4		
退職	3	3										
計	20	8										
合計	—	450	30	1800	—	—	—	計	165	66		
【備考欄】												

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部機械工学科)新設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	ホムパス
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2	
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>														
	哲学入門	1~4前後		2			○								兼1
	人間・死生学	1~4前後		2			○								兼7
	近現代思想	1~4前後		2			○								兼2
	科学論	1~4前後		2			○								兼4
	東洋・日本思想	1~4前後		2			○								兼2
	倫理学	1~4前後		2			○								兼1
	宗教学	1~4前後		2			○								兼2
	<b>【歴史学分野】</b>														
	歴史学入門	1~4前後		2			○								兼2
	西洋・中東史	1~4前後		2			○								兼2
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2			○								兼2
	世界近現代史	1~4前後		2			○								兼3
	日本史	1~4前後		2			○								兼2
	日本近世史	1~4前後		2			○								兼1
	日本近・現代史	1~4前後		2			○								兼2
	民俗学・人類学	1~4前後		2			○								兼2
	<b>【文学分野】</b>														
	文学	1~4前後		2			○								兼2
	外国文学	1~4前後		2			○								兼3
	日本文学	1~4前後		2			○								兼2
	<b>【言語分野】</b>														
	言語学入門	1~4前後		2			○								兼2
	言語学	1~4前後		2			○								兼3
	日本語表現論	1~4前後		2			○								兼4
	<b>【心理・行動学分野】</b>														
	心理学入門	1~4前後		2			○								兼5
	心理学	1~4前後		2			○								兼2
	心理学実験	1~4前後		1					○						兼1
	障害児行動論	1~4前後		2			○								兼1
	<b>【文化・芸術分野】</b>														
	西洋文化論	1~4前後		2			○								兼3
日本文化論	1~4前後		2			○								兼7	
現代文化論	1~4前後		2			○								兼9	
異文化論	1~4前後		2			○								兼2	
美術論	1~4前後		2			○								兼3	
音楽論	1~4前後		2			○								兼3	
<b>【古典・総合分野】</b>															
古典を読む	1~4前後		2			○								兼3	
小計(32科目)	—		63			—								兼32	
社会科学	<b>【法学分野】</b>														
	法学入門	1~4前後		2			○								兼1
	日本国憲法	1~4前後		2			○								兼4
	民事法	1~4前後		2			○								兼2
社会法	1~4前後		2			○								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○									兼2
	裁判法	1～4前後		2		○									兼1
	刑事法	1～4前後		2		○									兼1
	国際法	1～4前後		2		○									兼2
	知的財産権法	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【政治学分野】</b>														
	政治学入門	1～4前後		2		○									兼1
	現代政治論	1～4前後		2		○									兼3
	平和学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【経営学分野】</b>														
	経済学入門	1～4前後		2		○									兼2
	経済学史	1～4前後		2		○									兼1
	財政学	1～4前後		2		○									兼1
	国際経済論	1～4前後		2		○									兼1
	マクロ経済学	1～4前後		2		○									兼1
	経営学入門	1～4前後		2		○									兼2
	マネージメント論	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【社会学分野】</b>														
	社会学入門	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会論	1～4前後		2		○									兼13
	メディア論	1～4前後		2		○									兼2
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○									兼5
	<b>【地理・地域論分野】</b>														
	地理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	地理学	1～4前後		2		○									兼3
	地域論	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【教育学分野】</b>														
	教育論	1～4前後		2		○									兼9
	<b>【社会・総合】</b>														
	社会総合	1～4前後		2		○									兼6
小計（28科目）		—		56		—								兼28	
自然科学	<b>【数学分野】</b>														
	教養の数学	1～4前後		2		○									兼2
	基礎代数学	1～4前後		2		○									兼2
	基礎解析学	1～4前後		2		○									兼3
	基礎統計学	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【物理学分野】</b>														
	物理学入門	1～4前後		2		○									兼2
	教養の物理学	1～4前後		2		○									兼10
	現代物理学	1～4前後		2		○									兼1
	基礎物理学				2		○								兼1 卒業要件外
	<b>【化学分野】</b>														
	教養の化学	1～4前後		2		○									兼14
	現代科学	1～4前後		2		○									兼1
	基礎化学				2		○								兼4 卒業要件外
	<b>【生物学分野】</b>														
	生物学入門	1～4前後		2		○									兼2
	教養の生物学	1～4前後		2		○									兼20
現代生物学	1～4前後		2		○									兼7	
<b>【医学分野】</b>															
教養の医学	1～4前後		2		○									兼4	
現代医学	1～4前後		2		○									兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17 集中	
小計（23科目）	—		42	4		—								兼23	
教養科目	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2		○										兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2		○										兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
	<b>【キャリア形成】</b>														
	ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
複 合 領 域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
	小計（46科目）	—		2	90			—							
教 養 科 目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学	バドミントンAⅠ	1～4前後		2		○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
	雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—			72			—								兼35
英 語	英語1	1前	1			○									兼19
	英語2	1後	1			○									兼22
	英語3	2前	1			○									兼14
	英語4	2後	1			○									兼11
	小計（4科目）	—		4			—								兼12

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前		1			○								兼7	
	ドイツ語Ⅱ	1後		1			○								兼7	
	フランス語Ⅰ	1前		1			○								兼3	
	フランス語Ⅱ	1後		1			○								兼3	
	ポルトガル語Ⅰ	1前		1			○								兼1	
	ポルトガル語Ⅱ	1後		1			○								兼1	
	中国語Ⅰ	1前		1			○								兼6	
	中国語Ⅱ	1後		1			○								兼6	
	朝鮮・韓国語Ⅰ	1前		1			○								兼1	
	朝鮮・韓国語Ⅱ	1後		1			○								兼1	
小計(10科目)	—		10			—									兼10	
教養科目 日本語・日本事情	日本語DⅠ	1～4前後		1			○								兼1	留学生のみ
	日本語DⅡ	1～4前後		1			○								兼1	留学生のみ
	日本語DⅢ	1～4前後		1			○								兼1	留学生のみ
	日本事情AⅠ	1～4前後		2		○									兼1	留学生のみ
	日本事情AⅡ	1～4前後		2		○									兼1	留学生のみ
	日本事情CⅠ	1～4前後		2		○									兼1	留学生のみ
	日本事情CⅡ	1～4前後		2		○									兼1	留学生のみ
	クロスカルチャー・コミュニケーション	1～4前後		2		○									兼1	留学生のみ
小計(8科目)	—		13			—									兼8	
教養基礎	社会基盤工学概論 ※	1前	1				○								兼8	※印は8 クラスに 分け4ク ラス同時 開講
	機械工学概論 ※	1前	1				○			4	4				兼8	
	化学・生命工学概論 ※	1後	1				○								兼8	
	電気電子・情報工学概論 ※	1後	1				○								兼8	
小計(4科目)	—	4				—			4	4					兼24	
専門科目 基礎科目	微分積分Ⅰ ※	1前	2				○								兼2	※印は8 クラスに 分け4ク ラス同時 開講
	微分積分Ⅱ	1後	2				○								兼2	
	線形代数Ⅰ ※	1前	2				○								兼2	
	線形代数Ⅱ	1後	2				○								兼2	
	微分方程式	2前	2				○								兼2	
	確率統計 ※	1後	2				○			1	1					
	力学	1前	2				○			2						
	電磁気学基礎	2前	2				○								兼2	
	振動波動	2後	2				○			1					兼1	
	現代物理学概論	4前	2				○								兼2	
	化学基礎	2前	2				○								兼2	
	生物学基礎	2後	2				○								兼2	
	地学	1前	2				○								兼2	
	情報処理入門 ※	1前	2				○					2				
	プログラミング基礎	1後	2				○					1			兼1	
	工学基礎実験	2後	1						○			2				
	機械英語Ⅰ	3前	2				○								兼2	
	機械英語Ⅱ	3後	2				○								兼2	
	技術表現法 ※	2前	2				○			1					兼1	
環境エネルギー概論	2後	2				○			1					兼1		
技術経営概論	4前	2				○								兼2		
小計(21科目)	—	23	18			—			6	1		5			兼15	
学科共通科目	数学演習Ⅰ	1前	1				○				1		1			
	数学演習Ⅱ	1後	1				○			1			1			
	力学演習	1前	1				○				2					
	複素関数フーリエ変換	2後	2				○			2						
	工業力学	1後	2				○			2						
	工業力学演習	1後	1				○			1	1					
	計測工学	2前	2				○			1	1					
機械安全工学	3後	2				○									兼2	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学科 共通 科目	設計製図基礎	2前	1			○		○	1			1			
	CAD	2後	1					○	1	1					
	設計製図Ⅰ	3前	1					○	2						
	機械工学実験実習Ⅰ	3前	1					○	1	8		8			
	機械工学実験実習Ⅱ	3後	1					○		10		7			
	材料力学Ⅰ	2前	2			○			2						
	材料力学Ⅱ	2後		2		○			2						
	構造・機能材料学Ⅰ	2前	2			○			2						
	機械要素と機構	2後		2		○			2						
	生産加工学Ⅰ	2後	2			○			1	1					
	機械力学Ⅰ	2後	2			○			1	1					
	機械力学Ⅱ	3前		2		○			1					兼1	
	流体工学Ⅰ	2前	2			○			2						
	流体工学Ⅱ	2後		2		○			1	1					
	工業熱力学Ⅰ	2前	2			○			2						
	工業熱力学Ⅱ	2後		2		○			2						
	電気回路システム	2前	2			○									兼2
	電子回路システム	2後		2		○									兼2
	制御工学Ⅰ	2前	2			○				1					
	制御工学Ⅱ	2後		2		○				1					
	量子の物理	3後		2		○			1						兼1
	卒業研究	4通		8				○	19	12		11			
	小計（30科目）	—	—	35	22			—	19	12		11			兼8
専門 科目	機械工学基礎演習Ⅰ	2後	1					○	1	1		2			
	機械工学基礎演習Ⅱ	3前	1					○	1	1		2			
	機械工学創造演習	3後	1					○	10	6		7			
	CAE	3前	2					○				4			
	設計製図Ⅱ	3後	1			○		○		1					
	弾塑性学	3前		2		○			1						
	材料強度学	3後		2		○			1						
	構造・機能材料学Ⅱ	2後		2		○			1						
	構造・機能材料学Ⅲ	3前		2		○			1						
	生産加工学Ⅱ	3前		2		○				1					
	生産加工学Ⅲ	3後		2		○			1	1					
	流体システム工学	3前		2		○				1					
	流体力学	3後		2		○			1						
	エネルギーシステム工学	3前		2		○			1						
	伝熱工学	3後		2		○			1						
小計（15科目）	—	—	6	20			—	12	7		6				
知能 機械 コース 科目	知能機械工学演習Ⅰ	2後	1					○	2	2		2			
	知能機械工学演習Ⅱ	3前	1					○	2	2		1			
	知能機械工学演習Ⅲ	3後	1					○	2	2		1			
	プログラミング論・演習Ⅰ	2後	1.5			○	○					2			
	プログラミング論・演習Ⅱ	3前	1.5			○	○					1			
	シミュレーション工学	3後		2		○			1						
	計算機システム	3前		2		○			1	1					
	デジタル信号処理	3前		2		○				1					
	視覚情報処理	3後		2		○			1						
	有限要素法	3後		2		○									
	生産システム学	3前		2		○			1						
	ロボット工学	3後		2		○			1						
	制御工学Ⅲ	3前		2		○			1						
	応用流体工学	3前		2		○				1					
	応用熱工学	3前		2		○				1					
	生体システム工学	3後		2		○				1					
小計（16科目）	—	—	6	22			—	7	5		5				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	金型概論	4前		2		○			3						兼1	
	金型設計基礎	4前		2		○			1	1		1			兼1	
	金型設計実習	4前		1				○	1	1		1			兼1	
	金型加工実習Ⅰ	4前		1				○	1	1		1			兼1	
	金型加工実習Ⅱ	4前		1				○	1	1		1			兼1	
	成形加工実習	4前		1				○	1	1		1			兼1	
	小計(6科目)	—		8		—			8	5		5			兼6	
	教職科目	職業指導	4通			4	○									兼1
	小計(1科目)	—			4	—										兼1
	機械コース合計(265科目)			76	414	8	—			12	7		6			兼250
知能機械コース合計(266科目)			76	416	8	—			7	5		5			兼250	
学位又は称号	学士(工学)	学位又は学科の分野			工学関係											
設置の趣旨・必要性																
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>(1) 工学部改組の必要性</p> <p>本学工学部では、現行の体制となった平成14年度から約10年が経過する間に、技術者教育を取り巻く環境も大きく変化してきた。博士課程修了者にとっては、研究者や大学教員のみならず、イノベーション創出の主体となって活躍できる能力が期待されている。</p> <p>一方、学士課程においては、基礎的な専門知識に加え、様々な事象に適切に対応できる技術者を養成しなければならない。</p> <p>これは、自然科学等の知識とその応用力等を駆使して複合的に絡み合う課題を解決できる質の高い技術者の養成ニーズが高まっているという「大学における実践的な技術者教育に関する協力者会議(以下、協力者会議)」の指摘にも裏付けられている。また、下記的能力(①~③)を備えた人材が「企業において活躍している」、あるいは「活躍しうる」と企業側が実感していると日本経済団体連合会(以下、経団連)の「企業から見た理工学系大学・大学院教育のグッド・プラクティス事例」に報告されている。</p> <p>また、近年の急速な産業の国際化は、JETROによれば中小企業も海外展開をしなければ生き残れないと考える割合が7割に上ることとも適合する。</p> <p>① 基礎教育の体系的修得 基礎科目を体系的に修得している、また専門領域だけではなく、周辺領域についても幅広く学んでいる人材。基礎科目を体系的に修得しているからこそ、新たなテーマに適応しうる応用力が身につくのであり、また基礎教育を幅広く学ぶことが重要である。</p> <p>② 実学の修得 課題・解決能力を備えた人材。産業界で必要とされている実学(設計演習、技能演習等)を修得し、企業のニーズを深く理解していることが重要である。</p> <p>③ コミュニケーション力 討論を通じて他者とコミュニケーションをすることができる、また高いプレゼンテーション能力を有する人材。研究の進捗報告や発表会における指導がプレゼンテーション力、討論力の向上に非常に役立ち、企業に入ってから活用できている。またグローバル化が進む現在、国際的な活躍をする上で、語学力を含めたコミュニケーション能力が求められている。</p> <p>また、本学に入学後間もない1年生、3年間の履修経験を持つ4年生及び主な就職先企業にアンケートした結果、次のような問題点及び改善要望が出された。</p> <p>① 1年生では、学科選択において偏差値や合格可能性を重視し、あまり考えなかったという回答が25%(106名)あり、専門性をイメージできなかったという回答が7%(30名)であった。</p> <p>② 4年生では、カリキュラム等の改善要望が59%(197名)あり、専門課程に進むにつれて学科選択を偏差値等から安易に選択したミスマッチを訴えている。</p> <p>③ 企業が求める人材育成能力は、コミュニケーション力19%、基礎力14%、専門力15%、英語力11%、技術者倫理10%で、特に大企業では基礎力が1位であり、基礎学力への不満の表れと受け取れる。</p> <p>④ 学生全体意見として大括りの学科体制に賛成55%、反対5%、分からない40%となっており、また企業全体としても賛成35%、どちらとも言えない35%、反対18%であった。</p> <p>⑤ 大括りの学科体制に賛成意見の内、コース制導入について、専門性を一定期間見極める余裕ができる理由が1年生99%、4年生87%と肯定的であった。</p>																

#### 設置の趣旨・必要性

また、本学部の休学理由の第1位は進路の迷い・変更による者（毎年30名弱）であり、これら学生・企業アンケートの結果及び上記の提言を踏まえて、「新たな分野に適応できる基礎学力をもち、課題の発見・解決能力があり、国際的に活躍できる人材」養成を達成するため、学生が幅広く学べる大括り学科にし、進路変更が容易なコース制にする学科改組が必要である。

#### (2) 工学部改組の趣旨及び改組による効果

上記の人材養成像を実現するため、「基礎教育の充実」、「教育内容の体系化」、「組織の柔軟性」、「教員人事の強化」、「管理運営の効率化」の5点から述べる。実現のためには、組織と教育課程の見直しが一体的に必要となる。

##### ① 基礎教育の充実

学部の基礎教育を充実させることが学科体制変更の第一の目的である。基礎教育の充実は、経団連及び協力者会議の実践的な技術者育成に向けた提言とも合致する。工学部全体に共通する基礎教育として、数学、物理、化学、情報及び英語等を充実させた上で、各学科の専門教育を実施。なお、数学、物理、化学、英語のリメディアル教育を行う。

大括りの4学科体制に改組し、コース制とすることにより、伝統的な専門分野における標準的な基礎科目を、複数のコースで共通とする科目群として設定できる。これにより、教育内容の幅と深さを充実させることができる。

こうした改善は、学生が専門分野を決定する前に、どの分野に進んでも必要な教育として機能し、専門分野の周辺領域を学ぶためにも必要な基礎教育として位置付ける。

##### ② 教育内容の体系化

学士課程教育では、必ずしも学生の将来目標が確立しているものではない。また、各学科が示す養成する人材像に対する理解が不足している。したがって、学生が履修計画を決定する際に、履修する科目を体系的に示す必要がある。このため、協力者会議において提言されているコアカリキュラムなどを参考とした標準的なカリキュラムを基本として教育内容を体系化する。この体系化の中に、キャリアパスにおける様々な選択肢に対応する内容を包含させる。

こうした改善により、入学後から卒業までの期間において、学生に卒業後の姿を可視化させ、習得する単位の必要性・関連性を強く意識させることができる。

##### ③ 教育組織の柔軟性

専門分野を主軸として、周辺分野の知識を体系的に修得する教育プログラムの実施には、柔軟な教育組織体制が必要である。

上述のとおり周辺分野を幅広く学ばせることが求められている中、細分学科のままではどうしても細分学科内での自己完結型教育に陥りやすいため、収容する学科の器（組織）を大括りに改編することが必要である。

##### ④ 教員人事の強化

体系化された教育プログラムを継続・発展させるために、教員人事の強化を行う。このため、今回の改組に当たっては、学部全体の人事委員会を設置し、当該学科要望のみでなく、学部全体意見（目指すべき方向性等）を取り入れ、執行部が提案する公募を実現する。

##### ⑤ 管理運営の効率化

教育プログラムを充実させるためには、教員の教育研究時間を確保する必要があり、委員会組織の改編による管理運営の効率化（学科選出委員が減ること等による）が必要となる。このことは、学生へのきめ細かな教育指導による質の向上、研究時間増に伴う外部資金獲得及び社会貢献等に繋がる。

##### ⑥ 高度専門職業人育成のための6年一貫教育

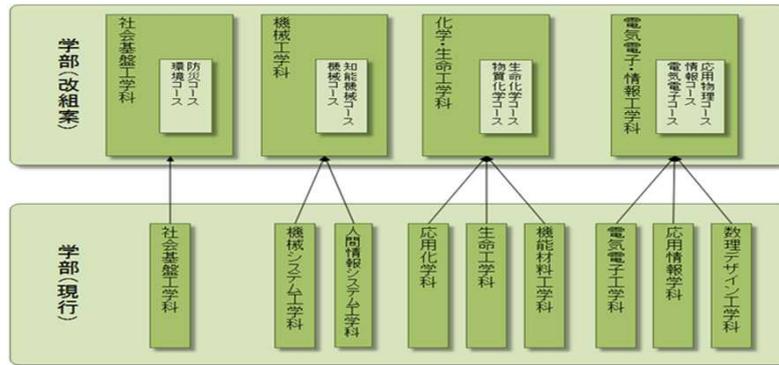
前述の人材養成像を達成するため、本学工学部の改組の基本方針として、学士課程（4年）から博士前期課程（2年）までの6年一貫教育を主軸として、高度専門職業人を育成する。

6年一貫教育の編成内容については、学士課程教育（教養科目、基礎科目、学科共通、コース科目、卒業研究へと積み上げていく方式）による質保証とともに、博士前期課程による基礎研究を主体とした研究面を有効に導入・発展させることで、学士課程で終了する者は基礎的な専門知識に加え、様々な事象に適切に対応できる技術者として保証し、6年一貫教育では高度専門職業人として育成することができる。

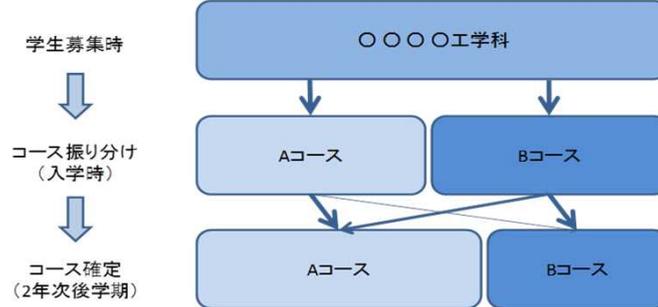
これにより、博士前期課程への進学意欲を高めるとともに、博士後期課程への進学促進を図ることができる。また、改組にあたっては工学教育全体を根本から見直すため、先ず学部改組から着手（平成25年4月）し、学部生の学士力・就業力の向上を図るとともに、新4学科に対応した学年進行を経て、6年一貫教育の枠組みで大学院改組（平成29年4月）する方針である。

設置の趣旨・必要性

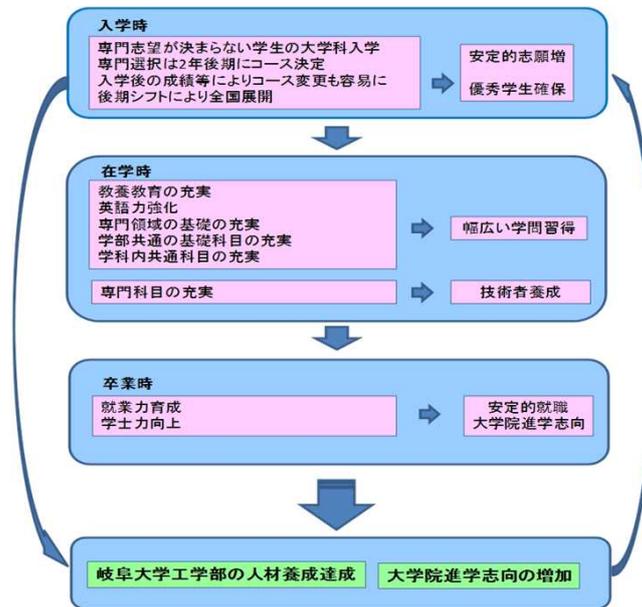
<工学部改組の概要>



<コース分けのイメージ図>



<組織・教育内容の見直しにより期待される効果>



(3) 機械工学科設置の趣旨及び名称

モノづくりを支える機械工学分野と機械・人間・情報・エネルギー・環境などの様々な要素を統合してシステム構築を行うシステム工学分野は、いずれも製造業の基盤をなす、無くてはならない重要な分野である。そこで、

- ① 従来の機械システム工学科と人間情報システム工学科で培った教育・研究の基盤を最大限利用すること
- ② 両分野に共通する領域を視点の異なる教員が教育することにより、従来のそれぞれの学科での教育よりも幅広い教育を実施すること
- ③ 機械工学と知能機械工学の両分野の基礎を学ばせることにより、広い視野を持った学生を育てること

設置の趣旨・必要性

を目的として、機械システム工学科と人間情報システム工学科を改組し、材料力学・機械力学・生産加工・流体工学・熱工学を主とする機械コースと、ロボット・知的システム・生産システムを主とする知能機械コースの2コースを設けて、1学科2コースに再編するものである。

本学科においては、機械工学分野の技術者として基礎となる材料力学、機械力学、生産加工、流体工学、熱工学などの基幹分野を体系的に学び、加えて技術の高度化に対応できる最新の機械工学の理論並びに情報・制御・計測・ロボティクス・エネルギー変換技術を融合した人間と環境に優しい知能・機械・情報のシステムに関する専門的能力を身につけられるよう科目を設定している。さらに、機械工学分野の様々な問題を解決するための実践能力を高めるため実験・実習科目及び各コースで必要となる専門科目を学ぶことが出来るようカリキュラムを編成している。

これら元々1学科であった2学科を1学科に戻すことにより、学生にとっては機械の基礎からロボットへの応用と生産システムまでの一貫した学びの場が実現し、関連分野の裾野が広がることによって、将来の進路選択肢がより幅広くなること及び就職後も必ずしも専攻分野に限らない専門職業人としての対応を可能にする将来的メリットがある。

また、教員側にとっても、従来、小規模学科内に留まっていたプロジェクト研究において、関連が深い分野教員が同一学科として有機的に融合できるため、従来なかなか果たせなかった分野横断的な研究協力が実現する相乗効果が期待できる。

これら新学科設置の趣旨により、学科の名称については、広く機械工学分野に関する教育を行う学科であることを表すため、機械工学科とした。

(4) 入学定員の設定

過去5年間の工学部の志願倍率と入学定員充足率は、平均して3.93倍と1.08倍を確保しており、学科別にも大きなばらつきはない。機械工学科についても、改組前の機械システム工学科と人間情報システム工学科の志願倍率は4.18倍、入学定員充足率は1.10倍である。

既設学科		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	計
機械システム工学科	募集人員	60	60	65	65	65	315
	志願者数	180	176	189	378	416	1339
	志願倍率	3.00	2.93	2.91	5.82	6.40	4.25
	受験者数	170	164	183	252	294	1063
	受験倍率	2.83	2.73	2.82	3.88	4.52	3.37
	入学者数	69	68	65	69	72	343
	充足率	1.15	1.13	1.00	1.06	1.11	1.09
人間情報システム工学科	募集人員	50	50	50	50	50	250
	志願者数	225	131	186	323	155	1020
	志願倍率	4.50	2.62	3.72	6.46	3.10	4.08
	受験者数	217	124	176	247	110	874
	受験倍率	4.34	2.48	3.52	4.94	2.20	3.50
	入学者数	56	56	52	55	58	277
	充足率	1.12	1.12	1.04	1.10	1.16	1.11
計	募集人員	110	110	115	115	115	565
	志願者数	405	307	375	701	571	2359
	志願倍率	3.68	2.79	3.26	6.10	4.97	4.18
	受験者数	387	288	359	499	404	1937
	受験倍率	3.52	2.62	3.12	4.34	3.51	3.43
	入学者数	125	124	117	124	130	620
	充足率	1.14	1.13	1.02	1.08	1.13	1.10

本改組は、既存の9学科を再編して4学科構成とするものであることから、最低限この志願倍率を確保できる見込みである。また、2年次後半に4学科9専門コース制の導入、転学科・転コースを容易にすること等、入学して幅広い工学技術の基礎を学んだ後に自分の進むべき分野を選択できる改組であることから、志願倍率が上昇することを見込んでいます。

工学部の過去5年間の求人数は14,608件であり、就職希望者に対する求人倍率は、5年平均で11.3倍に達する。また、就職希望者の就職率も96.67%である。今回の改組は、より学ぶべき分野を明確にしたコースを設けるものであり、企業から要望のあった工学基礎教育の充実や実学の習得によって基礎教育の体系化を図るものであるため、引き続き同程度の求人数・就職率を維持できると見込んでいます。

		H18	H19	H20	H21	H22	5年間計
機械システム工学科	就職希望者	40	36	47	27	30	180
	求人数	670	561	481	580	596	2888
	求人倍率	16.8	15.6	10.2	21.5	19.9	16
	就職者	38	36	47	27	30	178
	就職率	95.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.9%
人間情報システム工学科	就職希望者	22	27	25	16	24	114
	求人数	150	192	215	580	290	1427
	求人倍率	6.8	7.1	8.6	36.3	12.1	12.5
	就職者	22	25	24	13	23	107
	就職率	100.0%	92.6%	96.0%	81.3%	95.8%	93.9%
計	就職希望者	62	63	72	43	54	294
	求人数	820	753	696	1160	886	4315
	求人倍率	13.2	12	9.7	27	16.4	14.7
	就職者	60	61	71	40	53	285
	就職率	96.8%	96.8%	98.6%	93.8%	98.1%	96.9%

設置の趣旨・必要性

上記のほか、教育の質保証、教員の学生指導等を総合的に勘案した結果、改組後の入学定員を130人に設定した。

(5) 学位

取得できる学位は、学士（工学）とする。

II 教育課程編成の考え方・特色

I に掲げた社会的要請に基づく人材養成を達成するため、下記の教育課程を実施する。

①工学部の学生が最低限修得すべき工学的概論科目の新設

従来、志望した学科の専門分野にふさわしい科目を開講してきた。しかし、製造業を中心とした技術者は、専門分野の知識・技術だけでは技術的な課題に対応できない。そのため、初年次教育の一環として、新学科の専門分野の内容を幅広く理解することを目的に、全員に社会基盤工学概論、機械工学概論、化学・生命工学概論及び電気電子・情報工学概論を必修化する。これら概論科目は、入学時に仮配属したコースを見直し、専門分野を選択する自由度を増すための導入教育の意味を含んでいる。

②学部共通、学科共通、コース科目構成

従来、各学科とも工学基礎科目、専門基礎科目、専門基幹科目、専門総合科目、さらに学部共通の総合工学科目及び金型創成技術科目で構成していた。これまでの細分化した学科構成では、特定の専門分野に偏りがちであった。学科改組に当たり、学部共通の基礎科目、学科共通科目、コース科目の構成に変更する。さらに大括り学科の特性を生かすため、学科共通科目を多く配置している。

③実践的教育科目の新設

新学科のカリキュラムでは、実践的教育を強化するための新設科目を複数設置する。技術表現法は、コミュニケーションスキルを高めるために、グループワークによってプレゼンテーションと日本語表現を学ぶ科目である。技術経営概論は、現在、総合工学科目として開講されている技術論、特許法、工業経済の内容を見直し、企業活動における技術開発の役割を統一的に学ぶための科目である。情報処理入門は、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティなどについての講義と簡単なプログラミング演習を行う科目であり、情報通信技術について、幅広く基礎的な知識を得るための科目である。

④卒業までの一貫した英語教育の充実

改組に先立ち、岐阜大学は教養教育の改革を検討し、平成24年度入学生から実施している。人文・社会科学系の修得単位の増加を始め、英語教育の授業時間を倍増させることになった。これまで英語は、初年次と専門英語（各学科固有の専攻分野に適した内容）の通算5コマであったが、3年次までコンスタントに各学期1コマずつ（通算6コマ）とする。また高度な英語運用能力を有する学生を育成するため、学年毎の到達目標を掲げている。

⑤初年次のクラス分け

改組と同時に入学の初年次では学科区分によるクラス分けではなく、学科の垣根を撤廃し、全学科構成のクラス分けとする。これは教育上の大きな特色といえる。具体的には、初年次開講の英語1、英語2、4つの概論科目、線形代数Ⅰ、微分積分Ⅰ、確率・統計、情報処理入門、技術表現法の計11科目とする。

卒業要件及び履修方法

授業期間等

教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は34単位（各学期）、2年次以降は30単位（各学期）とする。

1 学年の学期区分	2 学期
1 学期の授業期間	1 5 週
1 時限の授業時間	9 0 分

○教養科目

以下の条件を満たして34単位以上修得すること。

初年次セミナー 2 単位

英語 4 単位

第二外国語 2 単位

教養基礎 4 単位

選択科目：人文科学 6 単位

社会科学 6 単位

自然科学 4 単位

スポーツ・健康科学 2 単位

複合領域 2 単位

自由選択科目 2 単位

○専門科目

以下の条件を満たして98単位以上修得すること。

基礎科目：必修科目23単位を含み25単位

学科共通科目：必修科目35単位を含み41単位

機械コース：必修科目6単位を含み12単位

知能機械コース：必修科目6単位を含み12単位

教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部化学・生命工学科)新設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	ホムパス
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2	
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>														
	哲学入門	1~4前後		2		○									兼1
	人間・死生学	1~4前後		2		○									兼7
	近現代思想	1~4前後		2		○									兼2
	科学論	1~4前後		2		○									兼4
	東洋・日本思想	1~4前後		2		○									兼2
	倫理学	1~4前後		2		○									兼1
	宗教学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【歴史学分野】</b>														
	歴史学入門	1~4前後		2		○									兼2
	西洋・中東史	1~4前後		2		○									兼2
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2		○									兼2
	世界近現代史	1~4前後		2		○									兼3
	日本史	1~4前後		2		○									兼2
	日本近世史	1~4前後		2		○									兼1
	日本近・現代史	1~4前後		2		○									兼2
	民俗学・人類学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【文学分野】</b>														
	文学	1~4前後		2		○									兼2
	外国文学	1~4前後		2		○									兼3
	日本文学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【言語分野】</b>														
	言語学入門	1~4前後		2		○									兼2
	言語学	1~4前後		2		○									兼3
	日本語表現論	1~4前後		2		○									兼4
	<b>【心理・行動学分野】</b>														
	心理学入門	1~4前後		2		○									兼5
	心理学	1~4前後		2		○									兼2
	心理学実験	1~4前後		1				○							兼1
	障害児行動論	1~4前後		2		○									兼1
	<b>【文化・芸術分野】</b>														
	西洋文化論	1~4前後		2		○									兼3
日本文化論	1~4前後		2		○									兼7	
現代文化論	1~4前後		2		○									兼9	
異文化論	1~4前後		2		○									兼2	
美術論	1~4前後		2		○									兼3	
音楽論	1~4前後		2		○									兼3	
<b>【古典・総合分野】</b>															
古典を読む	1~4前後		2		○									兼3	
小計(32科目)	—			63		—								兼32	
社会科学	<b>【法学分野】</b>														
	法学入門	1~4前後		2		○									兼1
	日本国憲法	1~4前後		2		○									兼4
	民事法	1~4前後		2		○									兼2
社会法	1~4前後		2		○									兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○										兼2	
	裁判法	1～4前後		2		○										兼1	
	刑事法	1～4前後		2		○										兼1	
	国際法	1～4前後		2		○										兼2	
	知的財産権法	1～4前後		2		○										兼2	
	<b>【政治学分野】</b>																
	政治学入門	1～4前後		2		○											兼1
	現代政治論	1～4前後		2		○											兼3
	平和学	1～4前後		2		○											兼2
	<b>【経営学分野】</b>																
	経済学入門	1～4前後		2		○											兼2
	経済学史	1～4前後		2		○											兼1
	財政学	1～4前後		2		○											兼1
	国際経済論	1～4前後		2		○											兼1
	マクロ経済学	1～4前後		2		○											兼1
	経営学入門	1～4前後		2		○											兼2
	マネージメント論	1～4前後		2		○											兼1
	<b>【社会学分野】</b>																
	社会学入門	1～4前後		2		○											兼1
	現代社会論	1～4前後		2		○											兼13
	メディア論	1～4前後		2		○											兼2
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○											兼5
	<b>【地理・地域論分野】</b>																
	地理学入門	1～4前後		2		○											兼1
	地理学	1～4前後		2		○											兼3
	地域論	1～4前後		2		○											兼1
	<b>【教育学分野】</b>																
	教育論	1～4前後		2		○											兼9
	<b>【社会・総合】</b>																
	社会総合	1～4前後		2		○											兼6
小計（28科目）		—		56		—										兼28	
自然科学	<b>【数学分野】</b>																
	教養の数学	1～4前後		2		○											兼2
	基礎代数学	1～4前後		2		○											兼2
	基礎解析学	1～4前後		2		○											兼3
	基礎統計学	1～4前後		2		○											兼1
	<b>【物理学分野】</b>																
	物理学入門	1～4前後		2		○											兼2
	教養の物理学	1～4前後		2		○											兼10
	現代物理学	1～4前後		2		○											兼1
	基礎物理学			2		○											兼1 卒業要件外
	<b>【化学分野】</b>																
	教養の化学	1～4前後		2		○											兼14
	現代科学	1～4前後		2		○											兼1
	基礎化学			2		○											兼4 卒業要件外
	<b>【生物学分野】</b>																
	生物学入門	1～4前後		2		○											兼2
	教養の生物学	1～4前後		2		○											兼20
	現代生物学	1～4前後		2		○											兼7
<b>【医学分野】</b>																	
教養の医学	1～4前後		2		○											兼4	
現代医学	1～4前後		2		○											兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17 集中	
小計（23科目）	—		42	4		—								兼23	
教養科目	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2		○										兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2		○										兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
	<b>【キャリア形成】</b>														
	ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
複合 領域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
小計（46科目）	—	2	90			—								兼46	
教養 科目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学	バドミントンAⅠ	1～4前後		2		○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6	
雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6	
剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—		72			—								兼35	
英 語	英語1	1前	1			○									兼19
	英語2	1後	1			○									兼22
	英語3	2前	1			○									兼14
	英語4	2後	1			○									兼11
	小計（4科目）	—	4			—									兼12

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前		1			○								兼7		
	ドイツ語Ⅱ	1後		1			○								兼7		
	フランス語Ⅰ	1前		1			○								兼3		
	フランス語Ⅱ	1後		1			○								兼3		
	ポルトガル語Ⅰ	1前		1			○								兼1		
	ポルトガル語Ⅱ	1後		1			○								兼1		
	中国語Ⅰ	1前		1			○								兼6		
	中国語Ⅱ	1後		1			○								兼6		
	朝鮮・韓国語Ⅰ	1前		1			○								兼1		
	朝鮮・韓国語Ⅱ	1後		1			○								兼1		
小計(10科目)	—		10			—									兼10		
日本語・日本事情	日本語DⅠ	1～4前後		1			○								兼1	留学生のみ	
	日本語DⅡ	1～4前後		1			○								兼1	留学生のみ	
	日本語DⅢ	1～4前後		1			○								兼1	留学生のみ	
	日本事情AⅠ	1～4前後		2		○									兼1	留学生のみ	
	日本事情AⅡ	1～4前後		2		○									兼1	留学生のみ	
	日本事情CⅠ	1～4前後		2		○									兼1	留学生のみ	
	日本事情CⅡ	1～4前後		2		○									兼1	留学生のみ	
	クロスカルチャー・コミュニケーション	1～4前後		2		○									兼1	留学生のみ	
小計(8科目)	—		13			—									兼8		
教養基礎	社会基盤工学概論 ※	1前	1			○									兼8	※印は8クラスに分け4クラス同時開講	
	機械工学概論 ※	1前	1			○									兼8		
	化学・生命工学概論 ※	1後	1			○			4	4					兼8		
	電気電子・情報工学概論 ※	1後	1			○			4	4					兼8		
小計(4科目)	—	4				—		4	4						兼24		
基礎科目	微分積分Ⅰ ※	1前	2			○									兼2	※印は8クラスに分け4クラス同時開講	
	微分積分Ⅱ	1後	2			○									兼2		
	線形代数Ⅰ ※	1前	2			○									兼2		
	線形代数Ⅱ	1後	2			○									兼2		
	微分方程式	1後	2			○									兼2		
	確率統計 ※	1後	2			○									兼2		
	力学※※	1前	2			○									兼2		※※は3科目中2科目選択必修
	電磁気学基礎※※	2前	2			○									兼2		
	振動波動※※	2後	2			○									兼2		
	現代物理学概論	2前	2			○									兼2		
	化学基礎	1前	2			○			1	1							
	生物学基礎	1前	2			○			1	1							
	地学	1前	2			○									兼2		
	情報処理入門 ※	1前	2			○									兼2		
	プログラミング基礎	1後	2			○									兼2		
	工学基礎実験	2後	1					○							兼2		
	化学工学英語Ⅰ	3前	2			○									兼2		
	化学工学英語Ⅱ	3後	2			○									兼2		
技術表現法 ※	2前	2			○									兼2			
環境エネルギー概論	4前	2			○									兼2			
技術経営概論	4前	2			○									兼2			
小計(21科目)	—	19	22			—		2	2						兼38		
学科共通科目	基礎物理化学Ⅰ	1後	2			○			2			1			2クラス開講		
	基礎物理化学Ⅱ	2前	2			○			2	1					2クラス開講		
	基礎無機化学	2前	2			○			1	1		1			2クラス開講		
	基礎分析化学	2前	2			○			1	1					2クラス開講		
	基礎有機化学Ⅰ	1後	2			○			2	1					2クラス開講		
	基礎有機化学Ⅱ	2前	2			○			1	2					2クラス開講		
	基礎生物化学	2前	2			○			1	3					2クラス開講		
	基礎化学実験	2後	2					○	22	19		17			各教員		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科共通科目	課題セミナーⅠ	4前	1				○		22	19		17		各教員
	課題セミナーⅡ	4後	1				○		22	19		17		各教員
	卒業研究	4通	8				○		22	19		17		各教員
	小計(11科目)	—	26				—		22	19		17		
物質化学コース科目	量子化学 a	2後	2			○			1			1		兼1 ----- 各教員 各教員 各教員 ※※※は6科目 中3科目選択 必修 -----
	固体化学	2後	2			○				1				
	無機化学	3前	2			○			1					
	分析化学 a	2後	2			○				1				
	機器分析	3後	1			○								
	有機化学Ⅰa	2後	2			○				1				
	有機化学Ⅱa	3前	2			○				1				
	有機機器分析	3後	1			○				1		1		
	高分子合成	2後	2			○			1	1				
	高分子物性Ⅰ	3前	2			○				2				
	化学工学Ⅰ	2後	2			○			2			2		
	化学環境安全工学	2後	2			○				1				
	物質化学演習	3後	1				○		13	11		10		
	物質化学実験Ⅰ	3前	5					○	13	11		10		
	物質化学実験Ⅱ	3後	3					○	13	11		10		
	分子分光※※※	3後		2			○		1					
	集合体化学※※※	3前		2			○		1					
	固体物性※※※	3前		2			○		1					
	電子材料化学※※※	3後		2			○		2					
	材料の力学※※※	2後		2			○		1			1		
	機能材料学※※※	3後		2			○		2			1		
	電気化学	3後		1			○			1				
	無機工業化学	3後		1			○			1				
	有機工業化学	3後		2			○		1					
	高分子物性Ⅱ	3後		2			○		2					
	化学工学Ⅱ	3前		2			○			1				
	化学工学Ⅲ	3後		2			○		1					
小計(27科目)	—	31	22				—	13	11		10		兼1	
生命化学コース科目	有機化学Ⅰb	2後	2			○			1	1				各教員 ----- 各教員 各教員 兼1 兼1 -----
	有機化学Ⅱb	3前	2			○			1	1				
	物理化学Ⅰ	2後	2			○				1				
	機器分析	2後	2			○			9	8		7		
	生物化学	2後	2			○			1	1				
	細胞分子生物学	2後	2			○				2				
	生物生産工学	2後	2			○			1					
	生命化学実験Ⅰ	3前	4					○	9	8		7		
	生命化学実験Ⅱ	3後	4					○	9	8		7		
	量子化学 b	2後		2			○		1					
	物理化学Ⅱ	3後		2			○		1					
	基礎生理学	2後		2			○							
	化学安全工学	3前		2			○			1				
	生物有機化学	3前		2			○			2				
	精密有機化学	3前		2			○		1					
	分析化学 b	3前		2			○		1					
	遺伝子工学	3前		2			○		1					
	細胞生物学	3前		2			○		1					
	有機合成化学	3後		2			○		1					
	医薬品化学	3後		2			○		1					
	生命情報科学	3後		2			○		1					
醗酵工学	3後		2			○			1					
小計(22科目)	—	22	26				—	9	8		7		兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	金型概論	4前		2		○									兼4	
	金型設計基礎	4前		2		○									兼4	
	金型設計実習	4前		1				○							兼4	
	金型加工実習Ⅰ	4前		1				○							兼4	
	金型加工実習Ⅱ	4前		1				○							兼4	
	成形加工実習	4前		1				○							兼4	
	小計（6科目）	—		8		—									兼24	—
	就職科目	職業指導	4通			4	○									兼1
	小計（1科目）	—			4	—										兼1
	物質化学コース（258科目）			88	398	8	—			13	11		10			兼284
生命化学コース（253科目）			79	402	8	—			9	8		7			兼285	
学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野			工学関係											
設置の趣旨・必要性																
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>(1) 工学部改組の必要性</p> <p>本学工学部では、現行の体制となった平成14年度から約10年が経過する間に、技術者教育を取り巻く環境も大きく変化してきた。博士課程修了者にとっては、研究者や大学教員のみならず、イノベーション創出の主体となって活躍できる能力が期待されている。</p> <p>一方、学士課程においては、基礎的な専門知識に加え、様々な事象に適切に対応できる技術者を養成しなければならない。</p> <p>これは、自然科学等の知識とその応用力等を駆使して複合的に絡み合う課題を解決できる質の高い技術者の養成ニーズが高まっているという「大学における実践的な技術者教育に関する協力者会議（以下、協力者会議）」の指摘にも裏付けられている。また、下記の能力（①～③）を備えた人材が「企業において活躍している」、あるいは「活躍しうる」と企業側が実感していると日本経済団体連合会（以下、経団連）の「企業から見た理工学系大学・大学院教育のグッド・プラクティス事例」に報告されている。</p> <p>また、近年の急速な産業の国際化は、JETROによれば中小企業も海外展開をしなければ生き残れないと考える割合が7割に上ることとも適合する。</p> <p>① 基礎教育の体系的修得 基礎科目を体系的に修得している、また専門領域だけではなく、周辺領域についても幅広く学んでいる人材。基礎科目を体系的に修得しているからこそ、新たなテーマに適応しうる応用力が身につくのであり、また基礎教育を幅広く学ぶことが重要である。</p> <p>② 実学の修得 課題・解決能力を備えた人材。産業界で必要とされている実学（設計演習、技能演習等）を修得し、企業のニーズを深く理解していることが重要である。</p> <p>③ コミュニケーション力 討論を通じて他者とコミュニケーションをすることができる、また高いプレゼンテーション能力を有する人材。研究の進捗報告や発表会における指導がプレゼンテーション力、討論力の向上に非常に役立ち、企業に入ってから活用できている。またグローバル化が進む現在、国際的な活躍をする上で、語学力を含めたコミュニケーション能力が求められている。</p> <p>また、本学に入学後間もない1年生、3年間の履修経験を持つ4年生及び主な就職先企業にアンケートした結果、次のような問題点及び改善要望が出された。</p> <p>① 1年生では、学科選択において偏差値や合格可能性を重視し、あまり考えなかったという回答が25%（106名）あり、専門性をイメージできなかったという回答が7%（30名）であった。</p> <p>② 4年生では、カリキュラム等の改善要望が59%（197名）あり、専門課程に進むにつれて学科選択を偏差値等から安易に選択したミスマッチを訴えている。</p> <p>③ 企業が求める人材育成能力は、コミュニケーション力19%、基礎力14%、専門力15%、英語力11%、技術者倫理10%で、特に大企業では基礎力が1位であり、基礎学力への不満の表れと受け取れる。</p> <p>④ 学生全体意見として大括りの学科体制に賛成55%、反対5%、分からない40%となっており、また企業全体としても賛成35%、どちらとも言えない35%、反対18%であった。</p> <p>⑤ 大括りの学科体制に賛成意見の内、コース制導入について、専門性を一定期間見極める余裕ができる理由が1年生99%、4年生87%と肯定的であった。</p>																

#### 設置の趣旨・必要性

また、本学部の休学理由の第1位は進路の迷い・変更による者（毎年30名弱）であり、これら学生・企業アンケートの結果及び上記の提言を踏まえて、「新たな分野に適応できる基礎学力をもち、課題の発見・解決能力があり、国際的に活躍できる人材」養成を達成するため、学生が幅広く学べる大括り学科にし、進路変更が容易なコース制にする学科改組が必要である。

#### (2) 工学部改組の趣旨及び改組による効果

上記の人材養成像を実現するため、「基礎教育の充実」、「教育内容の体系化」、「組織の柔軟性」、「教員人事の強化」、「管理運営の効率化」の5点から述べる。実現のためには、組織と教育課程の見直しが一体的に必要となる。

##### ① 基礎教育の充実

学部の基礎教育を充実させることが学科体制変更の第一の目的である。基礎教育の充実は、経団連及び協力者会議の実践的な技術者育成に向けた提言とも合致する。工学部全体に共通する基礎教育として、数学、物理、化学、情報及び英語等を充実させた上で、各学科の専門教育を実施

なお、数学、物理、化学、英語のリメディアル教育を行う。

大括りの4学科体制に改組し、コース制とすることにより、伝統的な専門分野における標準的な基礎科目を、複数のコースで共通とする科目群として設定できる。これにより、教育内容の幅と深さを充実させることができる。

こうした改善は、学生が専門分野を決定する前に、どの分野に進んでも必要な教育として機能し、専門分野の周辺領域を学ぶためにも必要な基礎教育として位置付ける。

##### ② 教育内容の体系化

学士課程教育では、必ずしも学生の将来目標が確立しているものではない。また、各学科が示す養成する人材像に対する理解が不足している。したがって、学生が履修計画を決定する際に、履修する科目を体系的に示す必要がある。このため、協力者会議において提言されているコアカリキュラムなどを参考とした標準的なカリキュラムを基本として教育内容を体系化する。この体系化の中に、キャリアパスにおける様々な選択肢に対応する内容を包含させる。

こうした改善により、入学後から卒業までの期間において、学生に卒業後の姿を可視化させ、習得する単位の必要性・関連性を強く意識させることができる。

##### ③ 教育組織の柔軟性

専門分野を主軸として、周辺分野の知識を体系的に修得する教育プログラムの実施には、柔軟な教育組織体制が必要である。

上述のとおり周辺分野を幅広く学ばせることが求められている中、細分学科のままではどうしても細分学科内での自己完結型教育に陥りやすいため、収容する学科の器（組織）を大括りに改編することが必要である。

##### ④ 教員人事の強化

体系化された教育プログラムを継続・発展させるために、教員人事の強化を行う。このため、今回の改組に当たっては、学部全体の人事委員会を設置し、当該学科要望のみでなく、学部全体意見（目指すべき方向性等）を取り入れ、執行部が提案する公募を実現する。

##### ⑤ 管理運営の効率化

教育プログラムを充実させるためには、教員の教育研究時間を確保する必要があり、委員会組織の改編による管理運営の効率化（学科選出委員が減ること等による）が必要となる。このことは、学生へのきめ細かな教育指導による質の向上、研究時間増に伴う外部資金獲得及び社会貢献等に繋がる。

##### ⑥ 高度専門職業人育成のための6年一貫教育

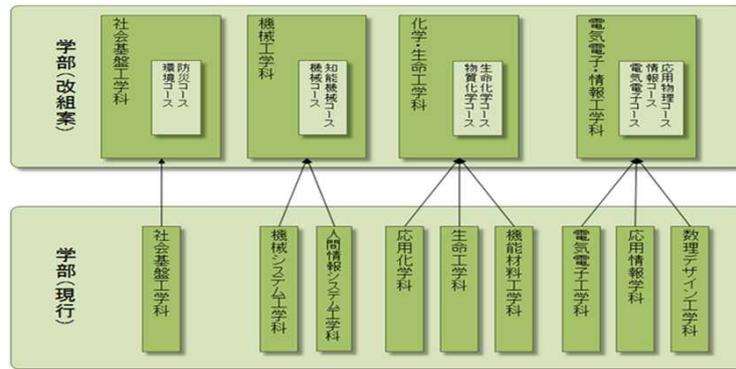
前述の人材養成像を達成するため、本学工学部の改組の基本方針として、学士課程（4年）から博士前期課程（2年）までの6年一貫教育を主軸として、高度専門職業人を育成する。

6年一貫教育の編成内容については、学士課程教育（教養科目、基礎科目、学科共通、コース科目、卒業研究へと積み上げていく方式）による質保証とともに、博士前期課程による基礎研究を主体とした研究面を有効に導入・発展させることで、学士課程で終了する者は基礎的な専門知識に加え、様々な事象に適切に対応できる技術者として保証し、6年一貫教育では高度専門職業人として育成することができる。

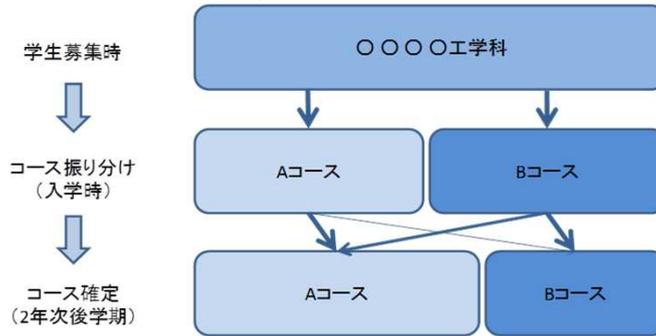
これにより、博士前期課程への進学意欲を高めるとともに、博士後期課程への進学促進を図ることができる。また、改組にあたっては工学教育全体を根本から見直すため、先ず学部改組から着手（平成25年4月）し、学部生の学士力・就業力の向上を図るとともに、新4学科に対応した学年進行を経て、6年一貫教育の枠組みで大学院改組（平成29年4月）する方針である。

設置の趣旨・必要性

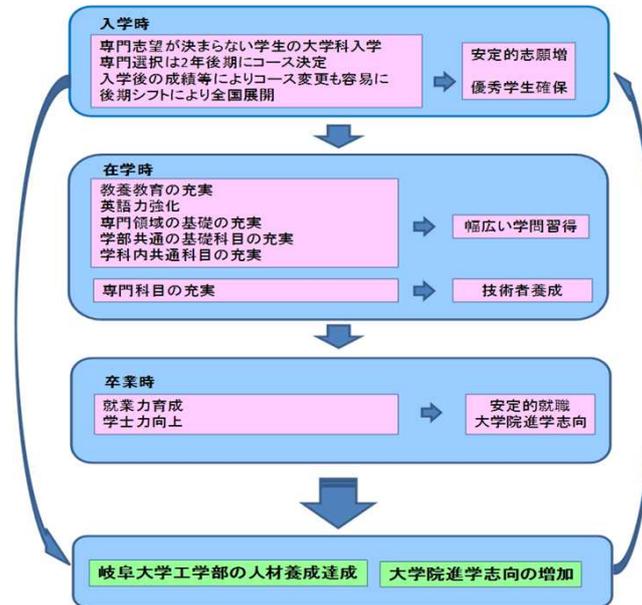
<工学部改組の概要>



<コース分けのイメージ図>



<組織・教育内容の見直しにより期待される効果>



(3) 化学・生命工学科設置の趣旨及び名称

地球環境に配慮しながら、限りある資源を有効に生かし、様々な新しい物質・材料を創成・利用する技術を磨くことは、資源に乏しい我が国にとって極めて重要な課題である。また近年の産業構造や社会環境の著しい変化に伴い、全ての産業の基盤となる化学工業分野では、化学を基礎にした広い視点とともに、特定専門分野での深い知識と高度な実践能力が求められている。そこで

- ① 従来の応用化学、生命工学、機能材料工学で培われてきた専門領域の教育・研究基盤を最大限活用すること
- ② これらの分野において化学を共通基盤とする普遍的で幅広い教育を実施すること

設置の趣旨・必要性

③ 共通の基盤に立って、物質化学と生命化学の専門領域についての柔軟な思考力と広い視野をもった学生を育てることを目的とし、化学系3学科の応用化学科、生命工学科および機能材料工学科を改組し、物理化学、無機化学、有機化学を共通基盤として、さらに高分子化学、化学工学、材料化学等を学ぶ物質化学コースと、生物化学、分子生物学、創薬化学、生物工学等を学ぶ生命化学コースの2コースを設けて、1学科2コースに再編するものである。

本学科においては、化学に基盤をおく技術者を育成するために物理化学、無機化学、有機化学などを体系的に学び、加えて物質化学と生命化学分野の今後のますますの高度化に対応可能な専門分野の知識と、技術者として求められる専門的な応用力についても身につけられるように科目を設定している。特に、化学の分野の様々な問題を解決するための実践能力を高めるため、実験・演習科目およびセミナー科目の充実を図った。

今回の改組により、学生にとっては幅広い分野の学習を可能にし、関連分野の裾野を広げることで、広い視野の獲得と将来の進路変更をも容易にするよう配慮した。これは、就職後は必ずしも専攻分野に限定して仕事をするとは限らない現代の専門職業人にとって、柔軟な対応能力の獲得という将来的な利点となる。

また、教員側にとっても、これまで以上に幅広い分野における関連教員の同一学科への有機的な融合により、小規模学科内のプロジェクト研究から、十分に果たせなかった異分野横断的な共同研究の実現と新たな科学の萌芽へ進展が期待できる。

これら新学科設置の趣旨により、学科の名称については、広く化学を基礎とする分野に関する学科であるだけでなく、生命工学分野をも包含した本学科の特徴を表すため、化学・生命工学科とした。

(4) 入学定員の設定

過去5年間の工学部の志願倍率と入学定員充足率は、平均して3.93倍と1.08倍を確保しており、学科別にも大きなばらつきはない。化学・生命工学科についても、改組前の応用化学科、生命工学科及び機能材料工学科の志願倍率は4.03倍、入学定員充足率は1.08倍である。

既設学科		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	計
応用化学科	募集人員	55	55	55	55	55	275
	志願者数	174	111	172	318	256	1031
	志願倍率	3.16	2.02	3.13	5.78	4.65	3.75
	受験者数	162	107	160	237	188	854
	受験倍率	2.95	1.95	2.91	4.31	3.42	3.11
	入学者数	61	54	63	57	58	293
	充足率	1.11	0.98	1.15	1.04	1.05	1.07
生命工学科	募集人員	60	60	60	60	60	300
	志願者数	175	193	172	383	362	1285
	志願倍率	2.92	3.22	2.87	6.38	6.03	4.28
	受験者数	164	178	156	272	299	1069
	受験倍率	2.73	2.97	2.60	4.53	4.98	3.56
	入学者数	63	61	65	63	66	318
	充足率	1.05	1.02	1.08	1.05	1.10	1.06
機能材料工学科	募集人員	55	55	55	55	55	275
	志願者数	164	161	154	364	265	1108
	志願倍率	2.98	2.93	2.80	6.62	4.82	4.03
	受験者数	152	153	147	261	196	909
	受験倍率	2.76	2.78	2.67	4.75	3.56	3.31
	入学者数	62	61	60	61	60	304
	充足率	1.13	1.11	1.09	1.11	1.09	1.11
計	募集人員	170	170	170	170	170	850
	志願者数	513	465	498	1065	883	3424
	志願倍率	3.02	2.74	2.93	6.26	5.19	4.03
	受験者数	478	438	463	770	683	2832
	受験倍率	2.81	2.58	2.72	4.53	4.02	3.33
	入学者数	186	176	188	181	184	915
	充足率	1.09	1.04	1.11	1.06	1.08	1.08

本改組は、既存の9学科を再編して4学科構成とするものであることから、最低限この志願倍率を確保できる見込みである。また、2年次後半に4学科9専門コース制の導入、転学科・転コースを容易にすること等、入学して幅広い工学技術の基礎を学んだ後に自分の進むべき分野を選択できる改組であることから、志願倍率が上昇することを見込んでいる。

工学部の過去5年間の求人数は14,608件であり、就職希望者に対する求人倍率は、5年平均で11.3倍に達する。また、就職希望者の就職率も96.67%である。今回の改組は、より学ぶべき分野を明確にしたコースを設けるものであり、企業から要望のあった工学基礎教育の充実や実学の習得によって基礎教育の体系化を図るものであるため、引き続き同程度の求人数・就職率を維持できると見込んでいる。

設置の趣旨・必要性

		H18	H19	H20	H21	H22	5年間計
応用化学科	就職希望者	24	25	23	14	19	105
	求人数	440	367	339	243	203	1592
	求人倍率	18.3	14.7	14.7	17.4	10.7	15.2
	就職者	23	25	23	14	18	103
	就職率	95.8%	100.0%	100.0%	100.0%	94.7%	98.1%
生命工学科	就職希望者	29	33	24	23	21	130
	求人数	220	367	339	243	203	1372
	求人倍率	7.6	11.1	14.1	10.6	9.7	10.6
	就職者	26	32	24	22	20	124
	就職率	89.7%	97.0%	100.0%	95.8%	95.2%	95.4%
機能材料工学科	就職希望者	21	31	30	20	21	123
	求人数	220	367	339	243	243	1412
	求人倍率	10.5	11.8	11.3	12.2	11.6	11.5
	就職者	18	31	30	20	21	120
	就職率	85.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.6%
計	就職希望者	74	89	77	57	61	358
	求人数	880	1101	1017	729	649	4376
	求人倍率	11.9	12.4	13.2	12.8	10.6	12.2
	就職者	67	88	77	56	59	347
	就職率	90.5%	98.9%	100.0%	98.2%	96.7%	96.9%

上記のほか、教育の質保証、教員の学生指導等を総合的に勘案した結果、改組後の入学定員を150人に設定した。

(5) 学位

取得できる学位は、学士（工学）とする。

II 教育課程編成の考え方・特色

I に掲げた社会的要請に基づく人材養成を達成するため、下記の教育課程を実施する。

①工学部の学生が最低限修得すべき工学的概論科目の新設

従来、志望した学科の専門分野にふさわしい科目を開講してきた。しかし、製造業を中心とした技術者は、専門分野の知識・技術だけでは技術的な課題に対応できない。そのため、初年次教育の一環として、新学科の専門分野の内容を幅広く理解することを目的に、全員に社会基盤工学概論、機械工学概論、化学・生命工学概論及び電気電子・情報工学概論を必修化する。これら概論科目は、入学時に仮配属したコースを見直し、専門分野を選択する自由度を増すための導入教育の意味を含んでいる。

②学部共通、学科共通、コース科目構成

従来、各学科とも工学基礎科目、専門基礎科目、専門総合科目、さらに学部共通の総合工学科目及び金型創成技術科目で構成していた。これまでの細分化した学科構成では、特定の専門分野に偏りがちであった。学科改組に当たり、学部共通の基礎科目、学科共通科目、コース科目の構成に変更する。さらに大括り学科の特性を生かすため、学科共通科目を多く配置している。

③実践的教育科目の新設

新学科のカリキュラムでは、実践的教育を強化するための新設科目を複数設置する。技術表現法は、コミュニケーションスキルを高めるために、グループワークによってプレゼンテーションと日本語表現を学ぶ科目である。技術経営概論は、現在、総合工学科目として開講されている技術論、特許法、工業経済の内容を見直し、企業活動における技術開発の役割を統一的に学ぶための科目である。情報処理入門は、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティなどについての講義と簡単なプログラミング演習を行う科目であり、情報通信技術について、幅広く基礎的な知識を得るための科目である。

④卒業までの一貫した英語教育の充実

改組に先立ち、岐阜大学は教養教育の改革を検討し、平成24年度入学生から実施している。人文・社会科学系の修得単位の増加を始め、英語教育の授業時間を倍増させることになった。これまで英語は、初年次と専門英語（各学科固有の専攻分野に適した内容）の通算5コマであったが、3年次までコンスタントに各学期1コマずつ（通算6コマ）とする。また高度な英語運用能力を有する学生を育成するため、学年毎の到達目標を掲げている。

⑤初年次のクラス分け

改組と同時に入学の初年次では学科区分によるクラス分けではなく、学科の垣根を撤廃し、全学科構成のクラス分けとする。これは教育上の大きな特色といえる。具体的には、初年次開講の英語1、英語2、4つの概論科目、線形代数Ⅰ、微分積分Ⅰ、確率・統計、情報処理入門、技術表現法の計11科目とする。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は34単位（各学期）、2年次以降は30単位（各学期）とする。 ○教養科目 以下の条件を満たして34単位以上修得すること。 初年次セミナー 2単位 英語 4単位 第二外国語 2単位 教養基礎 4単位 選択科目：人文科学 6単位 社会科学 6単位 自然科学 4単位 スポーツ・健康科学 2単位 複合領域 2単位 自由選択科目 2単位 ○専門科目 以下の条件を満たして98単位以上修得すること。 基礎科目：必修科目19単位、選択必修科目4単位を含み25単位 学科共通科目：必修科目26単位 物質化学コース：必修科目31単位と選択必修科目6単位 生命化学コース：必修科目22単位	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部電気電子・情報工学科)新設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	オムニバス
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2	
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>														
	哲学入門	1~4前後		2		○									兼1
	人間・死生学	1~4前後		2		○									兼7
	近現代思想	1~4前後		2		○									兼2
	科学論	1~4前後		2		○									兼4
	東洋・日本思想	1~4前後		2		○									兼2
	倫理学	1~4前後		2		○									兼1
	宗教学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【歴史学分野】</b>														
	歴史学入門	1~4前後		2		○									兼2
	西洋・中東史	1~4前後		2		○									兼2
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2		○									兼2
	世界近現代史	1~4前後		2		○									兼3
	日本史	1~4前後		2		○									兼2
	日本近世史	1~4前後		2		○									兼1
	日本近・現代史	1~4前後		2		○									兼2
	民俗学・人類学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【文学分野】</b>														
	文学	1~4前後		2		○									兼2
	外国文学	1~4前後		2		○									兼3
	日本文学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【言語分野】</b>														
	言語学入門	1~4前後		2		○									兼2
	言語学	1~4前後		2		○									兼3
	日本語表現論	1~4前後		2		○									兼4
	<b>【心理・行動学分野】</b>														
	心理学入門	1~4前後		2		○									兼5
	心理学	1~4前後		2		○									兼2
	心理学実験	1~4前後		1				○							兼1
	障害児行動論	1~4前後		2		○									兼1
	<b>【文化・芸術分野】</b>														
	西洋文化論	1~4前後		2		○									兼3
日本文化論	1~4前後		2		○									兼7	
現代文化論	1~4前後		2		○									兼9	
異文化論	1~4前後		2		○									兼2	
美術論	1~4前後		2		○									兼3	
音楽論	1~4前後		2		○									兼3	
<b>【古典・総合分野】</b>															
古典を読む	1~4前後		2		○									兼3	
小計(32科目)	—		63		—									兼32	
社会科学	<b>【法学分野】</b>														
	法学入門	1~4前後		2		○									兼1
	日本国憲法	1~4前後		2		○									兼4
	民事法	1~4前後		2		○									兼2
社会法	1~4前後		2		○									兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○										兼2	
	裁判法	1～4前後		2		○										兼1	
	刑事法	1～4前後		2		○										兼1	
	国際法	1～4前後		2		○										兼2	
	知的財産権法	1～4前後		2		○										兼2	
	<b>【政治学分野】</b>																
	政治学入門	1～4前後		2		○											兼1
	現代政治論	1～4前後		2		○											兼3
	平和学	1～4前後		2		○											兼2
	<b>【経営学分野】</b>																
	経済学入門	1～4前後		2		○											兼2
	経済学史	1～4前後		2		○											兼1
	財政学	1～4前後		2		○											兼1
	国際経済論	1～4前後		2		○											兼1
	マクロ経済学	1～4前後		2		○											兼1
	経営学入門	1～4前後		2		○											兼2
	マネージメント論	1～4前後		2		○											兼1
	<b>【社会学分野】</b>																
	社会学入門	1～4前後		2		○											兼1
	現代社会論	1～4前後		2		○											兼13
	メディア論	1～4前後		2		○											兼2
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○											兼5
	<b>【地理・地域論分野】</b>																
	地理学入門	1～4前後		2		○											兼1
	地理学	1～4前後		2		○											兼3
	地域論	1～4前後		2		○											兼1
	<b>【教育学分野】</b>																
	教育論	1～4前後		2		○											兼9
	<b>【社会・総合】</b>																
	社会総合	1～4前後		2		○											兼6
小計（28科目）		—		56		—										兼28	
自然科学	<b>【数学分野】</b>																
	教養の数学	1～4前後		2		○											兼2
	基礎代数学	1～4前後		2		○											兼2
	基礎解析学	1～4前後		2		○											兼3
	基礎統計学	1～4前後		2		○											兼1
	<b>【物理学分野】</b>																
	物理学入門	1～4前後		2		○											兼2
	教養の物理学	1～4前後		2		○											兼10
	現代物理学	1～4前後		2		○											兼1
	基礎物理学			2		○											兼1 卒業要件外
	<b>【化学分野】</b>																
	教養の化学	1～4前後		2		○											兼14
	現代科学	1～4前後		2		○											兼1
	基礎化学			2		○											兼4 卒業要件外
	<b>【生物学分野】</b>																
	生物学入門	1～4前後		2		○											兼2
	教養の生物学	1～4前後		2		○											兼20
	現代生物学	1～4前後		2		○											兼7
<b>【医学分野】</b>																	
教養の医学	1～4前後		2		○											兼4	
現代医学	1～4前後		2		○											兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17 集中	
小計（23科目）	—		42	4		—								兼23	
教養科目	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2		○										兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2		○										兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
	<b>【キャリア形成】</b>														
	ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
複合 領域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
	小計（46科目）	—	2	90			—								兼46
教養 科目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学	バドミントンAⅠ	1～4前後		2		○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
	雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—		72			—								兼35	
英 語	英語1	1前	1			○								兼19	
	英語2	1後	1			○								兼22	
	英語3	2前	1			○								兼14	
	英語4	2後	1			○								兼11	
	小計（4科目）	—	4			—								兼12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前		1			○								兼7
	ドイツ語Ⅱ	1後		1			○								兼7
	フランス語Ⅰ	1前		1			○								兼3
	フランス語Ⅱ	1後		1			○								兼3
	ポルトガル語Ⅰ	1前		1			○								兼1
	ポルトガル語Ⅱ	1後		1			○								兼1
	中国語Ⅰ	1前		1			○								兼6
	中国語Ⅱ	1後		1			○								兼6
	朝鮮・韓国語Ⅰ	1前		1			○								兼1
	朝鮮・韓国語Ⅱ	1後		1			○								兼1
小計(10科目)	—		10			—								兼10	
日本語・日本事情	日本語DⅠ	1～4前後		1			○								兼1 留学生のみ
	日本語DⅡ	1～4前後		1			○								兼1 留学生のみ
	日本語DⅢ	1～4前後		1			○								兼1 留学生のみ
	日本事情AⅠ	1～4前後		2		○									兼1 留学生のみ
	日本事情AⅡ	1～4前後		2		○									兼1 留学生のみ
	日本事情CⅠ	1～4前後		2		○									兼1 留学生のみ
	日本事情CⅡ	1～4前後		2		○									兼1 留学生のみ
	クロスカルチャー・コミュニケーション	1～4前後		2		○									兼1 留学生のみ
小計(8科目)	—		13			—								兼8	
教養基礎	社会基盤工学概論 ※	1前	1			○									兼8 ※印は8
	機械工学概論 ※	1前	1			○									兼8 クラスに
	化学・生命工学概論 ※	1後	1			○									兼8 分け4ク
	電気電子・情報工学概論 ※	1後	1			○			4	4					兼8 ラス同時
小計(4科目)	—	4			—			4	4					兼24 開講	
基礎科目	微分積分Ⅰ ※	1前	2			○			1	1			1		※印は8
	微分積分Ⅱ	1後	2			○			1	1			1		※印は8
	線形代数Ⅰ ※	1前	2			○			1	1			1		※印は8
	線形代数Ⅱ	1後	2			○			1	1			1		※印は8
	微分方程式	2前	2			○			1	1			1		※印は8
	確率統計 ※	1後	2			○			1	1			1		※印は8
	力学	1前	2			○			1	1			1		※印は8
	電磁気学基礎	1後	2			○			1	1			1		※印は8
	振動波動	2前		2		○			1						兼2
	現代物理学概論	4前		2		○			2						兼1
	化学基礎	2前		2		○									兼3
	生物学基礎	2後		2		○									兼3
	地学	1前		2		○									兼3
	情報処理入門 ※	1前	2			○				2					兼1
	プログラミング基礎	1後	2			○			1	1					兼1
	工学基礎実験	1前	1					○		1			1		兼1
	電気電子・情報英語Ⅰ	3前	2			○									兼3
電気電子・情報英語Ⅱ	3後	2			○									兼3	
技術表現法 ※	2前	2			○			1						兼2	
環境エネルギー概論	2後		2		○									兼2	
技術経営概論	4前		2		○			1						兼1	
小計(21科目)	—	27	14			—		14	12		9			兼26	
学科共通科目	微分方程式応用	2後		2		○			1						2クラス
	応用数学Ⅰ	2前	2			○			1						
	物理数学基礎	1前		2		○			1	2					
	量子力学概論	2前		2		○			1						
	統計力学概論	2後		2		○			1						
	電気回路学基礎	1後		2		○			1	1					
	電子回路学基礎	2前		2		○			1	1					
	数値解析	3前・2後		2		○			1	1					情3前・物2後

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学 科 共 通 科 目	情報数学	1後		2		○			2						
	プログラミング応用	2前		2		○				1					
	通信工学	3後		2		○			1						
	信号処理	3前		2		○			1						
	情報理論	2後		2		○			1						
	制御工学基礎	3前		2		○					1				
	光学	3前		2		○			1						
	計算機支援設計製図	4前		2			○			1					
	卒業研究	4通	8					○	25	28		12			
	小計（17科目）	—	10	30				—	25	28		12			
専 門 科 目	電気電子コース														
	電磁気学Ⅱ	2前	2			○			1						
	電磁気学Ⅲ	2後	2			○			1						
	電磁気学演習Ⅰ	1後	1				○			2					
	電磁気学演習Ⅱ	2前	1				○			2					
	電磁気学演習Ⅲ	2後	1				○			2					
	電気回路学Ⅱ	2前	2			○			1						
	電気回路学演習Ⅰ	1後	1				○			2					
	電気回路学演習Ⅱ	2前	1				○			1		1			
	電子回路学Ⅱ	2後	2				○			1					
	電子回路学演習Ⅰ	2前	1				○					2			
	電子回路学演習Ⅱ	2後	1				○					2			
	電気電子工学実験Ⅰ	2前	2					○				2			
	電気電子工学実験Ⅱ	2後	2					○			2				
	電気電子工学実験Ⅲ	3前	2					○			1	1			
	電気電子工学実験Ⅳ	3後	2					○			1	1			
	電気電子英語	4前後	2				○								兼1
	固体電子物性	2後		2			○				1				
	半導体工学	3前		2			○			1					
	デバイス工学	3後		2			○			1					
	磁性材料工学	3前		2			○			1					
	半導体プロセス工学	3後		2			○			1					
	超伝導工学	3前		2			○			1					
	誘電体工学	3後		2			○				1				
	電力工学基礎	2後		2			○			1					
	電力ネットワーク	3後		2			○			1					
	電気エネルギーシステム工学	3後		2			○				1				
	電気機器	3前		2			○				1				
	パワーエレクトロニクス	3後		2			○				1				
	電気電子計測学	3前		2			○			1					
電気法規と施設管理	4前		2			○								兼1	
電磁波工学	3前		2			○			1						
システム制御	3後		2			○					1				
システム工学	4前		2			○				1					
計算機工学Ⅰ	3前		2			○				1					
計算機工学Ⅱ	3後		2			○				1					
回路網設計	3後		2			○				1					
小計（36科目）	—	25	40					—	11	11		5		兼2	
情 報 工 学 コ ー ス 科 目	プログラミング実践Ⅰ	2後	2			○	○					1			
	プログラミング実践Ⅱ	3前	2			○	○					1			
	情報工学セミナー	3後	2			○	○			1		1			
	確率統計応用	2前	2			○						1			
	オートマトン理論	3前	2			○				1					
	アルゴリズム論	2前	2			○				1					
	ヒューマンインターフェース	3後		2		○				1					
	コンピュータアーキテクチャー	2前	2			○			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
情報工学 コース科目	オペレーティングシステム	2後	2			○						1		
	コンピュータネットワーク	3前		2		○				1				
	符号理論	3前	2			○			1					
	画像処理	3前	2			○			1					
	パターン認識	2後	2			○				1				
	暗号と情報セキュリティ	3後		2		○			1					
	人工知能と機械学習	3後		2		○			1					
	論理回路	2後		2		○			1					
	データベース論	3後		2		○						1		
	情報工学実験Ⅰ	2前	2					○		1		1		
	情報工学実験Ⅱ	2後	2					○		1		1		
	情報工学実験Ⅲ	3前	2					○		1		1		
	小計(20科目)	—	28	12			—			6	8		4	
専門科目 応用物理 コース科目	応用物理入門	2前	2			○			2	2		1		
	ベクトル解析	2前	2			○			1					
	応用電磁気学	2後	2			○				1				
	応用物理学実験Ⅰ	2後	2					○	1	2				
	応用物理学実験Ⅱ	3前	2					○		1		2		
	物理数学	3前		2		○			1					
	数理モデリング	2後	2			○			2	1				
	解析力学	2前	2			○				1				
	量子力学	2後	2			○				1				
	物性物理学	3前	2			○			1					
	半導体物理学	3後		2		○			1					
	光エレクトロニクス	3前	2			○			1					
	応用物理セミナーⅠ	2後	2			○	○		3	4		1		
	応用物理セミナーⅡ	3前	2			○	○		3	3		2		
	応用物理セミナーⅢ	3後	2			○	○		5	9		3		
	基礎数学演習Ⅰ	2前	1				○					1		
	基礎数学演習Ⅱ	2前	1				○					1		
	基礎数学演習Ⅲ	3後	1				○					1		
	応用物理学演習Ⅰ	2前	1				○			1				
	応用物理学演習Ⅱ	2後	1				○			1				
	応用物理学演習Ⅲ	3前	1				○			1				
	幾何学	3後		2		○			1					
	応用数学Ⅱ	2後		2		○			1					
統計力学	3前		2		○			1						
ダイナミカルシステム	3後		2		○			2						
現代物理学	3後		2		○				1					
数理物理	4前		2		○			1						
ナノスケール工学	4前		2		○				1					
流体・弾性体力学	3前		2		○			1						
原子核・素粒子物理学	3後		2		○				2					
宇宙電波工学	3後		2		○				1					
小計(31科目)	—	32	24			—			5	9		3		
金型創成 技術科目	金型概論	4前		2		○								兼4
	金型設計基礎	4前		2		○								兼4
	金型設計実習	4前		1				○						兼4
	金型加工実習Ⅰ	4前		1				○						兼4
	金型加工実習Ⅱ	4前		1				○						兼4
	成形加工実習	4前		1				○						兼4
小計(6科目)	—		8			—							兼24	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	職業指導	4通			4	○								兼1
教職科目	小計（1科目）	—			4	—								兼1
電気電子コース（273科目）			74	438	8	—		11	11		5		兼273	
情報工学コース（257科目）			77	410	8	—		9	8		4		兼271	
応用物理コース（268科目）			81	422	8	—		5	9		3		兼271	
学位又は称号		学士（工学）	学位又は学科の分野				工学関係							
設置の趣旨・必要性														
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>(1) 工学部改組の必要性</p> <p>本学工学部では、現行の体制となった平成14年度から約10年が経過する間に、技術者教育を取り巻く環境も大きく変化してきた。博士課程修了者にとっては、研究者や大学教員のみならず、イノベーション創出の主体となって活躍できる能力が期待されている。</p> <p>一方、学士課程においては、基礎的な専門知識に加え、様々な事象に適切に対応できる技術者を養成しなければならない。</p> <p>これは、自然科学等の知識とその応用力等を駆使して複合的に絡み合う課題を解決できる質の高い技術者の養成ニーズが高まっているという「大学における実践的な技術者教育に関する協力者会議（以下、協力者会議）」の指摘にも裏付けられている。また、下記の能力（①～③）を備えた人材が「企業において活躍している」、あるいは「活躍しうる」と企業側が実感していると日本経済団体連合会（以下、経団連）の「企業から見た理工学系大学・大学院教育のグッド・プラクティス事例」に報告されている。</p> <p>また、近年の急速な産業の国際化は、JETROによれば中小企業も海外展開をしなければ生き残れないと考える割合が7割に上ることとも適合する。</p> <p>① 基礎教育の体系的修得 基礎科目を体系的に修得している、また専門領域だけではなく、周辺領域についても幅広く学んでいる人材。基礎科目を体系的に修得しているからこそ、新たなテーマに適応しうる応用力が身につくのであり、また基礎教育を幅広く学ぶことが重要である。</p> <p>② 実学の修得 課題・解決能力を備えた人材。産業界で必要とされている実学（設計演習、技能演習等）を修得し、企業のニーズを深く理解していることが重要である。</p> <p>③ コミュニケーション力 討論を通じて他者とコミュニケーションをすることができる、また高いプレゼンテーション能力を有する人材。研究の進捗報告や発表会における指導がプレゼンテーション力、討論力の向上に非常に役立ち、企業に入ってから活用できている。またグローバル化が進む現在、国際的な活躍をする上で、語学力を含めたコミュニケーション能力が求められている。</p> <p>また、本学に入学後間もない1年生、3年間の履修経験を持つ4年生及び主な就職先企業にアンケートした結果、次のような問題点及び改善要望が出された。</p> <p>① 1年生では、学科選択において偏差値や合格可能性を重視し、あまり考えなかったという回答が25%（106名）あり、専門性をイメージできなかったという回答が7%（30名）であった。</p> <p>② 4年生では、カリキュラム等の改善要望が59%（197名）あり、専門課程に進むにつれて学科選択を偏差値等から安易に選択したミスマッチを訴えている。</p> <p>③ 企業が求める人材育成能力は、コミュニケーション力19%、基礎力14%、専門力15%、英語力11%、技術者倫理10%で、特に大企業では基礎力が1位であり、基礎学力への不満の表れと受け取れる。</p> <p>④ 学生全体意見として大括りの学科体制に賛成55%、反対5%、分からない40%となっており、また企業全体としても賛成35%、どちらとも言えない35%、反対18%であった。</p> <p>⑤ 大括りの学科体制に賛成意見の内、コース制導入について、専門性を一定期間見極める余裕ができる理由が1年生99%、4年生87%と肯定的であった。</p> <p>また、本学部の休学理由の第1位は進路の迷い・変更による者（毎年30名弱）であり、これら学生・企業アンケートの結果及び上記の提言を踏まえて、「新たな分野に適応できる基礎学力をもち、課題の発見・解決能力があり、国際的に活躍できる人材」養成を達成するため、学生が幅広く学べる大括り学科にし、進路変更が容易なコース制にする学科改組が必要である。</p>														

## (2) 工学部改組の趣旨及び改組による効果

上記の人材養成像を実現するため、「基礎教育の充実」、「教育内容の体系化」、「組織の柔軟性」、「教員人事の強化」、「管理運営の効率化」の5点から述べる。実現のためには、組織と教育課程の見直しが一体的に必要となる。

## ① 基礎教育の充実

学部の基礎教育を充実させることが学科体制変更の第一の目的である。基礎教育の充実は、経団連及び協力者会議の実践的な技術者育成に向けた提言とも合致する。工学部全体に共通する基礎教育として、数学、物理、化学、情報及び英語等を充実させた上で、各学科の専門教育を実施  
なお、数学、物理、化学、英語のリメディアル教育を行う。

大括りの4学科体制に改組し、コース制とすることにより、伝統的な専門分野における標準的な基礎科目を、複数のコースで共通とする科目群として設定できる。これにより、教育内容の幅と深さを充実させることができる。

こうした改善は、学生が専門分野を決定する前に、どの分野に進んでも必要な教育として機能し、専門分野の周辺領域を学ぶためにも必要な基礎教育として位置付ける。

## ② 教育内容の体系化

学士課程教育では、必ずしも学生の将来目標が確立しているものではない。また、各学科が示す養成する人材像に対する理解が不足している。したがって、学生が履修計画を決定する際に、履修する科目を体系的に示す必要がある。このため、協力者会議において提言されているコアカリキュラムなどを参考とした標準的なカリキュラムを基本として教育内容を体系化する。この体系化の中に、キャリアパスにおける様々な選択肢に対応する内容を包含させる。

こうした改善により、入学後から卒業までの期間において、学生に卒業後の姿を可視化させ、習得する単位の必要性・関連性を強く意識させることができる。

## ③ 教育組織の柔軟性

専門分野を主軸として、周辺分野の知識を体系的に修得する教育プログラムの実施には、柔軟な教育組織体制が必要である。

上述のとおり周辺分野を幅広く学ばせることが求められている中、細分学科のままではどうしても細分学科内での自己完結型教育に陥りやすいため、収容する学科の器（組織）を大括りに改編することが必要である。

## ④ 教員人事の強化

体系化された教育プログラムを継続・発展させるために、教員人事の強化を行う。このため、今回の改組に当たっては、学部全体の人事委員会を設置し、当該学科要望のみでなく、学部全体意見（目指すべき方向性等）を取り入れ、執行部が提案する公募を実現する。

## ⑤ 管理運営の効率化

教育プログラムを充実させるためには、教員の教育研究時間を確保する必要があり、委員会組織の改編による管理運営の効率化（学科選出委員が減ること等による）が必要となる。このことは、学生へのきめ細かな教育指導による質の向上、研究時間増に伴う外部資金獲得及び社会貢献等に繋がる。

## ⑥ 高度専門職業人育成のための6年一貫教育

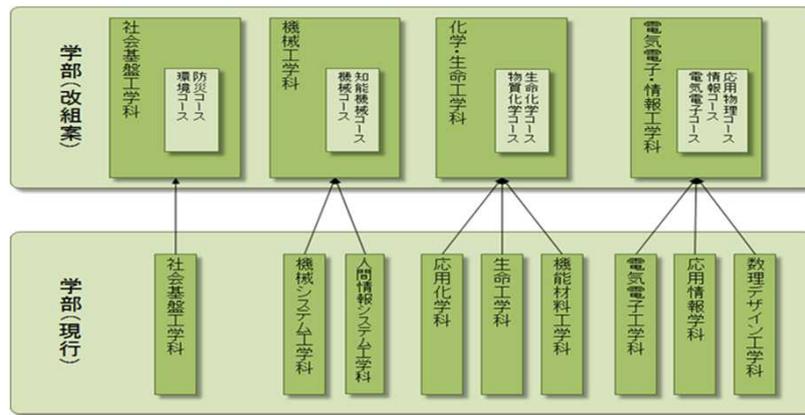
前述の人材養成像を達成するため、本学工学部の改組の基本方針として、学士課程（4年）から博士前期課程（2年）までの6年一貫教育を主軸として、高度専門職業人を育成する。

6年一貫教育の編成内容については、学士課程教育（教養科目、基礎科目、学科共通、コース科目、卒業研究へと積み上げていく方式）による質保証とともに、博士前期課程による基礎研究を主体とした研究面を有効に導入・発展させることで、学士課程で終了する者は基礎的な専門知識に加え、様々な事象に適切に対応できる技術者として保証し、6年一貫教育では高度専門職業人として育成することができる。

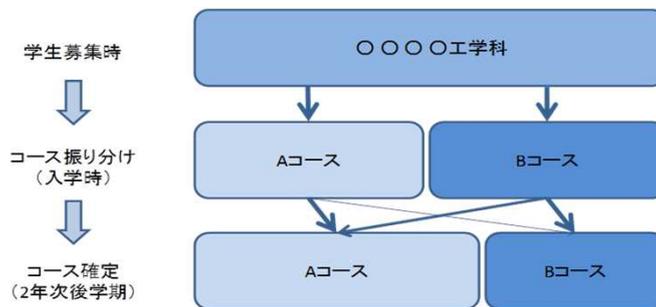
これにより、博士前期課程への進学意欲を高めるとともに、博士後期課程への進学促進を図ることができる。また、改組にあたっては工学教育全体を根本から見直すため、先ず学部改組から着手（平成25年4月）し、学部生の学士力・就業力の向上を図るとともに、新4学科に対応した学年進行を経て、6年一貫教育の枠組みで大学院改組（平成29年4月）する方針である。

設置の趣旨・必要性

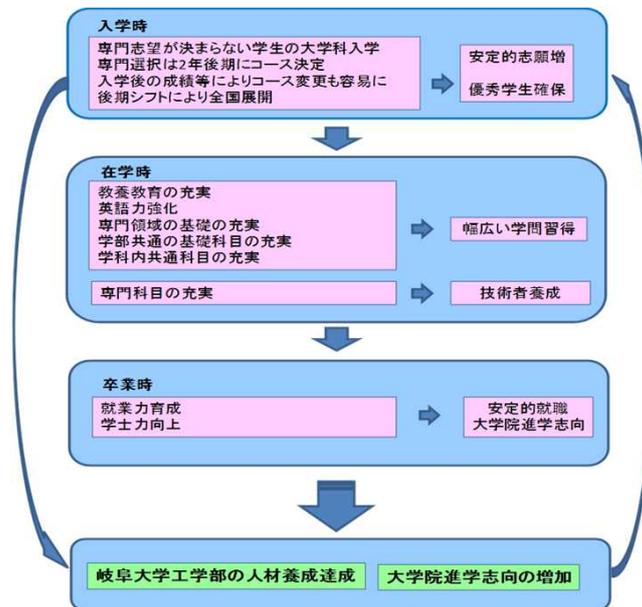
<工学部改組の概要>



<コース分けのイメージ図>



<組織・教育内容の見直しにより期待される効果>



(3) 電気電子・情報工学科設置の趣旨及び名称

新しく電気電子・情報工学科を設置することにより、日本の産業の核となってきたエレクトロニクス分野、電気エネルギー分野、通信技術分野、情報処理分野を更に発展させることができ、それらの分野を融合した新規な分野の創出とその関連産業に貢献できる人材育成を目指す。

設置の趣旨・必要性

既設の電気電子工学科は液晶テレビ等に代表されるエレクトロニクス、電気エネルギーの安定供給、光通信や衛星を用いた新しい通信技術に貢献してきた。また応用情報学科はコンピュータとネットワークを通じて情報社会を支え、情報技術の新しい応用を切り拓く技術者の育成に貢献してきた。さらに、数理デザイン工学科は応用物理分野と数学分野で構成されてきた。応用物理分野は電気電子工学分野の急速な発展の基盤分野として、数学分野は情報処理分野における暗号化や情報処理精度を高める技術革新の基盤を担う分野として貢献してきた。

今、日本や世界の趨勢はスマートフォン等に象徴されるように、液晶画面（エレクトロニクス）、高速通信網、モバイル環境とクラウドを基盤とした情報処理サービスの融合した技術革新が始まろうとしている。また、エネルギー分野においても再生可能エネルギーの不安定さを解消でき、多種のエネルギー源による最適制御を行うスマートグリッドが今後展開され新しいエネルギーシステムの構築とそれによる新産業の創出・成長が期待できる。

今まで単独に発展進化してきた電気電子工学分野、情報処理・情報通信分野が融合する新しい時代が到来している。このような融合分野に対応できる教育を可能とし、新しく成長する新産業を支える人材育成が重要となる。この変革期に貢献できる人材を育成するには電気電子工学、通信工学、情報工学とそれらを支える応用物理と数学を勉学できる環境を整えることが大学の使命と考える。ハードウェアとソフトウェアの両面に精通し、ものづくり技術者として必要な情報活用能力を身に付け、創造的な課題探索と問題解決の能力を有した人材を養成するために従来の電気電子工学科、応用情報学科、数理デザイン工学科を一つの学科に纏めた電気電子・情報工学科の設置を行う。

本学科において、電気電子コースでは、電磁気学、電気回路、電子回路を基盤に、固体電子工学分野、電気エネルギー分野、情報通信分野、システム・制御分野について教育を行う。情報コースでは、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、情報・符号理論、数値解析、メディア処理、人工知能、ヒューマンインタフェース等の情報技術分野について教育を行う。応用物理コースでは、電磁気学、解析力学、統計力学、量子力学、応用数学などを基盤に、光と物質に関する現代物理分野や関連する数理系分野について教育を行う。

これら学問的に関連する3コースが融合することにより、学生にとっては幅広い学びとなり、将来の進路変更にも対応できるようになる。また、従来、学科単位で取得可能な教員免許資格（数理デザイン工学科の「数学」免許、電気電子工学科及び応用情報学科における「工業」免許）は、幅広い学科になることによって学生の志向次第で取得可能なチャンスが広がる。さらに、就職後も専攻分野だけに限らない専門職業人としての活躍が可能となるなどのメリットがある。また、教員側にとっても、従来の学科内にとどまっていた研究活動が、関連の深い分野の教員間の分野横断的な研究プロジェクトなどを通して相乗効果が期待できる。

これら新学科設置の趣旨により、学科の名称については、電気電子工学分野と情報工学分野、応用物理分野に関する教育を行う学科であることを表すため、電気電子・情報工学科とした。

(4) 入学定員の設定

過去5年間の工学部の志願倍率と入学定員充足率は、平均して3.93倍と1.08倍を確保しており、学科別にも大きなばらつきはない。化学・生命工学科についても、改組前の応用化学科、生命工学科及び機能材料工学科の志願倍率は3.71倍、入学定員充足率は1.06倍である。

既設学科		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	計
電気電子工学科	募集人員	60	60	60	60	60	300
	志願者数	175	156	164	303	304	1102
	志願倍率	2.92	2.60	2.73	5.05	5.07	3.67
	受験者数	170	152	157	222	205	906
	受験倍率	2.83	2.53	2.62	3.70	3.42	3.02
	入学者数	63	67	64	63	59	316
	充足率	1.05	1.12	1.07	1.05	0.98	1.05
応用情報学科	募集人員	70	70	70	70	70	350
	志願者数	207	165	199	356	292	1219
	志願倍率	2.96	2.36	2.84	5.09	4.17	3.48
	受験者数	199	151	188	256	212	1006
	受験倍率	2.84	2.16	2.69	3.66	3.03	2.87
	入学者数	72	78	76	74	73	373
	充足率	1.03	1.11	1.09	1.06	1.04	1.07
数理デザイン工学科	募集人員	40	40	35	35	35	185
	志願者数	150	84	150	234	159	777
	志願倍率	3.75	2.10	4.29	6.69	4.54	4.20
	受験者数	140	81	145	168	118	652
	受験倍率	3.50	2.03	4.14	4.80	3.37	3.52
	入学者数	43	45	38	37	34	197
	充足率	1.08	1.13	1.09	1.06	0.97	1.06
計	募集人員	170	170	165	165	165	835
	志願者数	532	405	513	893	755	3098
	志願倍率	3.13	2.38	3.11	5.41	4.58	3.71
	受験者数	509	384	490	646	535	2564
	受験倍率	2.99	2.26	2.97	3.92	3.24	3.07
	入学者数	178	190	178	174	166	886
	充足率	1.05	1.12	1.08	1.05	1.01	1.06

設置の趣旨・必要性

本改組は、既存の9学科を再編して4学科構成とするものであることから、最低限この志願倍率を確保できる見込みである。また、2年次後半に4学科9専門コース制の導入、転学科・転コースを容易にすること等、入学して幅広い工学技術の基礎を学んだ後に自分の進むべき分野を選択できる改組であることから、志願倍率が上昇することを見込んでいる。

工学部の過去5年間の求人数は14,608件であり、就職希望者に対する求人倍率は、5年平均で11.3倍に達する。また、就職希望者の就職率も96.67%である。今回の改組は、より学ぶべき分野を明確にしたコースを設けるものであり、企業から要望のあった工学基礎教育の充実や実学の習得によって基礎教育の体系化を図るものであるため、引き続き同程度の求人数・就職率を維持できると見込んでいる。

		H18	H19	H20	H21	H22	5年間計
電気電子 工学科	就職希望者	31	31	34	31	37	164
	求人数	500	581	531	411	501	2524
	求人倍率	16.1	18.7	15.6	13.3	13.5	15.4
	就職者	29	31	33	29	36	158
	就職率	93.5%	100.0%	97.1%	93.5%	97.3%	96.3%
応用情報 学科	就職希望者	29	25	22	34	31	141
	求人数	267	331	309	244	382	1533
	求人倍率	9.2	13.2	14	7.2	12.3	10.9
	就職者	28	23	22	29	29	131
	就職率	96.6%	92.0%	100.0%	85.3%	93.5%	92.9%
数理デザ イン工学 科	就職希望者	20	25	19	6	19	89
	求人数	200	145	262	75	125	807
	求人倍率	10	5.8	13.8	12.5	6.6	9.1
	就職者	19	24	19	5	18	85
	就職率	95.0%	96.0%	100.0%	83.3%	94.7%	95.5%
計	就職希望者	80	81	75	71	87	394
	求人数	967	1057	1102	730	1008	4864
	求人倍率	12.1	13	14.7	10.3	11.6	12.3
	就職者	76	78	74	63	83	374
	就職率	95.0%	96.3%	98.7%	88.7%	95.4%	94.9%

上記のほか、教育の質保証、教員の学生指導等を総合的に勘案した結果、改組後の入学定員を170人に設定した。

(5) 学位

取得できる学位は、学士（工学）とする。

II 教育課程編成の考え方・特色

I に掲げた社会的要請に基づく人材養成を達成するため、下記の教育課程を実施する。

①工学部の学生が最低限修得すべき工学的概論科目の新設

従来、志望した学科の専門分野にふさわしい科目を開講してきた。しかし、製造業を中心とした技術者は、専門分野の知識・技術だけでは技術的な課題に対応できない。そのため、初年次教育の一環として、新学科の専門分野の内容を幅広く理解することを目的に、全員に社会基盤工学概論、機械工学概論、化学・生命工学概論及び電気電子・情報工学概論を必修化する。これら概論科目は、入学時に仮配属したコースを見直し、専門分野を選択する自由度を増すための導入教育の意味を含んでいる。

②学部共通、学科共通、コース科目構成

従来、各学科とも工学基礎科目、専門基礎科目、専門基幹科目、専門総合科目、さらに学部共通の総合工学科目及び金型創成技術科目で構成していた。これまでの細分化した学科構成では、特定の専門分野に偏りがちであった。学科改組に当たり、学部共通の基礎科目、学科共通科目、コース科目の構成に変更する。さらに大括り学科の特性を生かすため、学科共通科目を多く配置している。

③実践的教育科目の新設

新学科のカリキュラムでは、実践的教育を強化するための新設科目を複数設置する。技術表現法は、コミュニケーションスキルを高めるために、グループワークによってプレゼンテーションと日本語表現を学ぶ科目である。技術経営概論は、現在、総合工学科目として開講されている技術論、特許法、工業経済の内容を見直し、企業活動における技術開発の役割を統一的に学ぶための科目である。情報処理入門は、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティなどについての講義と簡単なプログラミング演習を行う科目であり、情報通信技術について、幅広く基礎的な知識を得るための科目である。

④卒業までの一貫した英語教育の充実

改組に先立ち、岐阜大学は教養教育の改革を検討し、平成24年度入学生から実施している。人文・社会科学系の修得単位の増加を始め、英語教育の授業時間を倍増させることになった。これまで英語は、初年次と専門英語（各学科固有の専攻分野に適した内容）の通算5コマであったが、3年次までコンスタントに各学期1コマずつ（通算6コマ）とする。また高度な英語運用能力を有する学生を育成するため、学年毎の到達目標を掲げている。

設置の趣旨・必要性

⑤初年次のクラス分け

改組と同時入学の初年次では学科区分によるクラス分けではなく、学科の垣根を撤廃し、全学科構成のクラス分けとする。これは教育上の大きな特色といえる。具体的には、初年次開講の英語1、英語2、4つの概論科目、線形代数Ⅰ、微分積分Ⅰ、確率・統計、情報処理入門、技術表現法の計11科目と

卒業要件及び履修方法

授業期間等

教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は34単位（各学期）、2年次以降は30単位（各学期）とする。

○教養科目

以下の条件を満たして34単位以上修得すること。

初年次セミナー 2単位

英語 4単位

第二外国語 2単位

教養基礎 4単位

選択科目：人文科学 6単位

社会科学 6単位

自然科学 4単位

スポーツ・健康科学 2単位

複合領域 2単位

自由選択科目 2単位

○専門科目

以下の条件を満たして98単位以上修得すること。

基礎科目

・電気電子コース：必修27単位を含み27単位

・情報コース：必修27単位を含み29単位

・応用物理コース：必修27単位を含み29単位

学科共通科目

・電気電子コース：必修科目12単位を含み26単位

・情報工学コース：必修科目12単位を含み24単位

・応用物理コース：必修科目10単位を含み22単位

コース科目

・電気電子コース：必修25単位を含み41単位

・情報コース：必修26単位を含み32単位

・応用物理コース：必修32単位を含み38単位以上

1学年の学期区分	2学期
1学期の授業期間	15週
1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部機械システム工学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	ホムパス
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2	
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>														
	哲学入門	1~4前後		2		○									兼1
	人間・死生学	1~4前後		2		○									兼7
	近現代思想	1~4前後		2		○									兼2
	科学論	1~4前後		2		○									兼4
	東洋・日本思想	1~4前後		2		○									兼2
	倫理学	1~4前後		2		○									兼1
	宗教学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【歴史学分野】</b>														
	歴史学入門	1~4前後		2		○									兼2
	西洋・中東史	1~4前後		2		○									兼2
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2		○									兼2
	世界近現代史	1~4前後		2		○									兼3
	日本史	1~4前後		2		○									兼2
	日本近世史	1~4前後		2		○									兼1
	日本近・現代史	1~4前後		2		○									兼2
	民俗学・人類学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【文学分野】</b>														
	文学	1~4前後		2		○									兼2
	外国文学	1~4前後		2		○									兼3
	日本文学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【言語分野】</b>														
	言語学入門	1~4前後		2		○									兼2
	言語学	1~4前後		2		○									兼3
	日本語表現論	1~4前後		2		○									兼4
	<b>【心理・行動学分野】</b>														
	心理学入門	1~4前後		2		○									兼5
	心理学	1~4前後		2		○									兼2
	心理学実験	1~4前後		1				○							兼1
	障害児行動論	1~4前後		2		○									兼1
	<b>【文化・芸術分野】</b>														
	西洋文化論	1~4前後		2		○									兼3
日本文化論	1~4前後		2		○									兼7	
現代文化論	1~4前後		2		○									兼9	
異文化論	1~4前後		2		○									兼2	
美術論	1~4前後		2		○									兼3	
音楽論	1~4前後		2		○									兼3	
<b>【古典・総合分野】</b>															
古典を読む	1~4前後		2		○									兼3	
小計(32科目)	—		63			—								兼32	
社会科学	<b>【法学分野】</b>														
	法学入門	1~4前後		2		○									兼1
	日本国憲法	1~4前後		2		○									兼4
	民事法	1~4前後		2		○									兼2
社会法	1~4前後		2		○									兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○									兼2	
	裁判法	1～4前後		2		○									兼1	
	刑事法	1～4前後		2		○									兼1	
	国際法	1～4前後		2		○									兼2	
	知的財産権法	1～4前後		2		○									兼2	
	<b>【政治学分野】</b>															
	政治学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代政治論	1～4前後		2		○									兼3	
	平和学	1～4前後		2		○									兼2	
	<b>【経営学分野】</b>															
	経済学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	経済学史	1～4前後		2		○									兼1	
	財政学	1～4前後		2		○									兼1	
	国際経済論	1～4前後		2		○									兼1	
	マクロ経済学	1～4前後		2		○									兼1	
	経営学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	マネージメント論	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【社会学分野】</b>															
	社会学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代社会論	1～4前後		2		○									兼13	
	メディア論	1～4前後		2		○									兼2	
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○									兼5	
	<b>【地理・地域論分野】</b>															
	地理学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	地理学	1～4前後		2		○									兼3	
	地域論	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【教育学分野】</b>															
	教育論	1～4前後		2		○									兼9	
	<b>【社会・総合】</b>															
	社会総合	1～4前後		2		○									兼6	
	小計（28科目）		—		56		—								兼28	
	自然科学	<b>【数学分野】</b>														
教養の数学		1～4前後		2		○								兼2		
基礎代数学		1～4前後		2		○								兼2		
基礎解析学		1～4前後		2		○								兼3		
基礎統計学		1～4前後		2		○								兼1		
<b>【物理学分野】</b>																
物理学入門		1～4前後		2		○								兼2		
教養の物理学		1～4前後		2		○								兼10		
現代物理学		1～4前後		2		○								兼1		
基礎物理学					2		○							兼1	卒業要件外	
<b>【化学分野】</b>																
教養の化学		1～4前後		2		○								兼14		
現代科学		1～4前後		2		○								兼1		
基礎化学					2		○							兼4	卒業要件外	
<b>【生物学分野】</b>																
生物学入門		1～4前後		2		○								兼2		
教養の生物学		1～4前後		2		○								兼20		
現代生物学		1～4前後		2		○								兼7		
<b>【医学分野】</b>																
教養の医学	1～4前後		2		○								兼4			
現代医学	1～4前後		2		○								兼1			

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17 集中	
小計（23科目）	—		42	4		—								兼23	
教養科目	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2			○									兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2			○									兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2			○									兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2			○									兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
	<b>【キャリア形成】</b>														
	ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
複合 領域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
	小計（46科目）	—	2	90			—								兼46
教養 科目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学	バドミントンAⅠ	1～4前後		2		○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
	雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—		72			—								兼35	
英 語	英語1	1前	1			○									兼19
	英語2	1後	1			○									兼22
	英語3	2前	1			○									兼14
	英語4	2後	1			○									兼11
	小計（4科目）	—	4			—									兼12

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前	1			○								兼7	
		ドイツ語Ⅱ	1後	1			○								兼7	
		フランス語Ⅰ	1前	1			○								兼3	
		フランス語Ⅱ	1後	1			○								兼3	
		ポルトガル語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		ポルトガル語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
		中国語Ⅰ	1前	1			○								兼6	
		中国語Ⅱ	1後	1			○								兼6	
		朝鮮・韓国語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		朝鮮・韓国語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	小計(10科目)	—		10			—								兼10	
	日本語・日本事情	日本語DⅠ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
		日本語DⅡ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
日本語DⅢ		1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ	
日本事情AⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情AⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
クロスカルチャー・コミュニケーション		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
小計(8科目)	—		13			—								兼8		
教養基礎	現代テクノロジーの展開ⅠB	1前	2			○			5	1				兼1		
	現代テクノロジーの展開ⅡB	1後	2			○			1			1				
	小計(2科目)	—	4			—			6	1		1		兼1		
専門科目	工学基礎科目	解析学Ⅰ	1前	2			○				1					
		解析学Ⅱ	1後	2			○								兼1	
		代数学Ⅰ	1前	2			○								兼1	
		代数学Ⅱ	1後	2			○								兼1	
		力学	1前	2			○			1						
		電磁気学	1後	2			○								兼1	
		振動・波動の物理	2前	2			○								兼1	
		量子の物理	3後	2			○			1						
		基礎化学	2前	2			○								兼1	
		材料の化学	3後	2			○								兼1	
		生物学	3前	2			○								兼1	
		地学	2後	2			○								兼1	
		工学基礎実験	2後	1					○				2			
	小計(13科目)	—	9	16			—			2	1		2		兼9	
	専門基礎科目	数学演習Ⅰ	1前	1				○		1	1					
		数学演習Ⅱ	1後	1				○								
		力学演習	1前	1				○			1					
		応用数学Ⅰ	2前	2			○			1						
		応用数学Ⅱ	2前	2			○					1			兼1	
応用数学Ⅲ		2後	2			○										
機械英語Ⅰ		3前	2			○								兼1		
機械英語Ⅱ		3後	2			○								兼1		
小計(8科目)	—	7	6			—			2	3			兼3			
専門基幹科目	工業力学	1後	2			○			1							
	工業力学演習	1後	1				○		1							
	計測工学	2前	2			○			2							
	コンピュータ・プログラミング	2前	2			○						1				
	CAE基礎	2後	1				○			1						
	設計製図基礎	2前	1				○		1							
	CAD	2後	1				○			1						
	機械要素と機構	2後	2			○			1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 基幹 科目	構造・機能材料Ⅰ	2前	2			○			1							
	構造・機能材料Ⅱ	2後		2		○			1							
	構造・機能材料Ⅲ	3前		2		○			1							
	材料力学Ⅰ	2前	2			○			1							
	材料力学Ⅱ	2後		2		○			1							
	生産加工学Ⅰ	2後	2			○				1						
	生産加工学Ⅱ	3前		2		○				1						
	生産加工学Ⅲ	3後		2		○			1	1						
	機械力学Ⅰ	2後	2			○			1							
	機械力学Ⅱ	3前		2		○										兼1
	流体工学Ⅰ	2前	2			○			1	1						
	流体工学Ⅱ	2後		2		○			1	1						
	工業熱力学Ⅰ	2前	2			○			1							
	工業熱力学Ⅱ	2後		2		○			1							
	機械工学基礎演習Ⅰ	2後	1				○		2	1			1			
	機械工学基礎演習Ⅱ	3前	1				○		1	1			2			
	小計(24科目)	—	—	22	20		—		—	12	7		4			兼1
専門 総合 科目	弾塑性学	3前		2		○			1							
	材料強度学	3後		2		○			2							
	流体力学	3後		2		○			2	2						
	流体システム工学	3前		2		○				1						
	エネルギーシステム工学	3前		2		○			1							
	伝熱工学	3後		2		○			1							
	電気回路	2前		2		○										兼1
	制御工学Ⅰ	2後		2		○										兼1
	制御工学Ⅱ	3前		2		○										兼1
	メカトロニクス	3後		2		○										兼2
	機械安全工学	3後		2		○										兼1
	設計製図Ⅰ	3前	1				○		1							
	設計製図Ⅱ	3後	1				○			1						
	機械工学創造演習	3後	1				○		3							
	機械工学実験実習Ⅰ	3前	1					○	1	2						
	機械工学実験実習Ⅱ	3後	1					○		2						
	卒業研究	4通	8					○	12	7			6			
小計(17科目)	—	—	13	22		—		—	12	7		6			兼6	
総合 工学 科目	技術論	4前		1		○										兼1
	人間工学	4前		1		○										兼1
	品質管理	4後		1		○										兼1
	エネルギー管理	4後		1		○										兼1
	特許法	4前		1		○										兼1
	工業経済	4後		2		○										兼1
	環境科学序説	4前		2		○										兼1
小計(7科目)	—	—	9		—		—								兼7	
金型 創成 技術 科目	金型概論	4前		2		○										兼4
	金型設計基礎	4前		2		○										兼4
	金型設計実習	4前		1				○								兼4
	金型加工実習Ⅰ	4前		1					○							兼4
	金型加工実習Ⅱ	4前		1						○						兼4
	成形加工実習	4前		1							○					兼4
小計(6科目)	—	—	8		—		—								兼24	—
教職 科目	職業指導	4通		4		○										兼1
	小計(1科目)	—	—	4		—		—								兼1
合計(266科目)		—	63	431	4	—		—	12	7		6			兼248	—

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は年間68単位、2年次以降は60単位とする。 ○教養科目 以下の条件を満たして34単位以上修得すること。 初年次セミナー 2単位 英語 4単位 第二外国語 2単位 教養基礎 4単位 選択科目：人文科学 6単位 社会科学 6単位 自然科学 4単位 スポーツ・健康科学 2単位 複合領域 2単位 自由選択科目 2単位 ○専門科目 以下の条件を満たして98単位以上修得すること。 工学基礎科目必修科目13単位を含み15単位 専門基礎科目必修科目10単位 専門基幹科目必修科目17単位を含み30単位 専門総合科目必修科目8単位を含み20単位		1学年の学期区分	2学期
		1学期の授業期間	15週
		1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部応用化学科)既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	ホムパス
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2	
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>														
	哲学入門	1~4前後		2		○									兼1
	人間・死生学	1~4前後		2		○									兼7
	近現代思想	1~4前後		2		○									兼2
	科学論	1~4前後		2		○									兼4
	東洋・日本思想	1~4前後		2		○									兼2
	倫理学	1~4前後		2		○									兼1
	宗教学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【歴史学分野】</b>														
	歴史学入門	1~4前後		2		○									兼2
	西洋・中東史	1~4前後		2		○									兼2
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2		○									兼2
	世界近現代史	1~4前後		2		○									兼3
	日本史	1~4前後		2		○									兼2
	日本近世史	1~4前後		2		○									兼1
	日本近・現代史	1~4前後		2		○									兼2
	民俗学・人類学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【文学分野】</b>														
	文学	1~4前後		2		○									兼2
	外国文学	1~4前後		2		○									兼3
	日本文学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【言語分野】</b>														
	言語学入門	1~4前後		2		○									兼2
	言語学	1~4前後		2		○									兼3
	日本語表現論	1~4前後		2		○									兼4
	<b>【心理・行動学分野】</b>														
	心理学入門	1~4前後		2		○									兼5
	心理学	1~4前後		2		○									兼2
	心理学実験	1~4前後		1				○							兼1
	障害児行動論	1~4前後		2		○									兼1
	<b>【文化・芸術分野】</b>														
	西洋文化論	1~4前後		2		○									兼3
日本文化論	1~4前後		2		○									兼7	
現代文化論	1~4前後		2		○									兼9	
異文化論	1~4前後		2		○									兼2	
美術論	1~4前後		2		○									兼3	
音楽論	1~4前後		2		○									兼3	
<b>【古典・総合分野】</b>															
古典を読む	1~4前後		2		○									兼3	
小計(32科目)	—		63			—								兼32	
社会科学	<b>【法学分野】</b>														
	法学入門	1~4前後		2		○									兼1
	日本国憲法	1~4前後		2		○									兼4
	民事法	1~4前後		2		○									兼2
社会法	1~4前後		2		○									兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○										兼2	
	裁判法	1～4前後		2		○										兼1	
	刑事法	1～4前後		2		○										兼1	
	国際法	1～4前後		2		○										兼2	
	知的財産権法	1～4前後		2		○										兼2	
	<b>【政治学分野】</b>																
	政治学入門	1～4前後		2		○										兼1	
	現代政治論	1～4前後		2		○										兼3	
	平和学	1～4前後		2		○										兼2	
	<b>【経営学分野】</b>																
	経済学入門	1～4前後		2		○										兼2	
	経済学史	1～4前後		2		○										兼1	
	財政学	1～4前後		2		○										兼1	
	国際経済論	1～4前後		2		○										兼1	
	マクロ経済学	1～4前後		2		○										兼1	
	経営学入門	1～4前後		2		○										兼2	
	マネージメント論	1～4前後		2		○										兼1	
	<b>【社会学分野】</b>																
	社会学入門	1～4前後		2		○										兼1	
	現代社会論	1～4前後		2		○										兼13	
	メディア論	1～4前後		2		○										兼2	
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○										兼5	
	<b>【地理・地域論分野】</b>																
	地理学入門	1～4前後		2		○										兼1	
	地理学	1～4前後		2		○										兼3	
	地域論	1～4前後		2		○										兼1	
	<b>【教育学分野】</b>																
	教育論	1～4前後		2		○										兼9	
<b>【社会・総合】</b>																	
社会総合	1～4前後		2		○										兼6		
小計（28科目）		—		56		—										兼28	
自然科学	<b>【数学分野】</b>																
	教養の数学	1～4前後		2		○										兼2	
	基礎代数学	1～4前後		2		○										兼2	
	基礎解析学	1～4前後		2		○										兼3	
	基礎統計学	1～4前後		2		○										兼1	
	<b>【物理学分野】</b>																
	物理学入門	1～4前後		2		○										兼2	
	教養の物理学	1～4前後		2		○										兼10	
	現代物理学	1～4前後		2		○										兼1	
	基礎物理学				2		○									兼1	卒業要件外
	<b>【化学分野】</b>																
	教養の化学	1～4前後		2		○										兼14	
	現代科学	1～4前後		2		○										兼1	
	基礎化学				2		○									兼4	卒業要件外
	<b>【生物学分野】</b>																
	生物学入門	1～4前後		2		○										兼2	
	教養の生物学	1～4前後		2		○										兼20	
現代生物学	1～4前後		2		○										兼7		
<b>【医学分野】</b>																	
教養の医学	1～4前後		2		○										兼4		
現代医学	1～4前後		2		○										兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17 集中	
小計（23科目）	—		42	4		—								兼23	
教養科目	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2		○										兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2		○										兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
	<b>【キャリア形成】</b>														
	ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
複合 領域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
	小計（46科目）	—	2	90			—								兼46
教養 科目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学	バドミントンAⅠ	1～4前後		2		○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
	雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—		72			—								兼35	
英 語	英語1	1前	1			○								兼19	
	英語2	1後	1			○								兼22	
	英語3	2前	1			○								兼14	
	英語4	2後	1			○								兼11	
	小計（4科目）	—	4			—								兼12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前	1			○								兼7	
		ドイツ語Ⅱ	1後	1			○								兼7	
		フランス語Ⅰ	1前	1			○								兼3	
		フランス語Ⅱ	1後	1			○								兼3	
		ポルトガル語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		ポルトガル語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
		中国語Ⅰ	1前	1			○								兼6	
		中国語Ⅱ	1後	1			○								兼6	
		朝鮮・韓国語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		朝鮮・韓国語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	小計(10科目)	—		10			—								兼10	
	日本語・日本事情	日本語DⅠ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
		日本語DⅡ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
日本語DⅢ		1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ	
日本事情AⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情AⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
クロスカルチャー・コミュニケーション		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
小計(8科目)	—		13			—								兼8		
教養基礎	現代テクノロジーの展開ⅠC	1前	2			○			5	1				兼1		
	現代テクノロジーの展開ⅡC	1後	2			○			1			1				
	小計(2科目)	—	4			—			6	1		1		兼1		
専門科目	工学基礎科目	解析学Ⅰ	1前	2			○				1				兼1	
		解析学Ⅱ	1後	2			○								兼1	
		代数学Ⅰ	1前	2			○								兼1	
		代数学Ⅱ	1後	2			○								兼1	
		力学	1前	2			○								兼1	
		電磁気学	1後	2			○								兼1	
		振動・波動の物理	2前	2			○								兼1	
		量子の物理	2前	2			○								兼1	
		基礎化学	1前	2			○								兼1	
		材料の化学	1前	2			○			1						
		生物学	2後	2			○								兼2	
		地学	3後	2			○								兼1	
		工学基礎実験	2後	1					○				2		兼1	
	小計(13科目)	—	13	12			—			1	1		2		兼13	
	専門基礎科目	コンピュータ・プログラミング	1後	2			○			1						
		化学英語Ⅰ	3前	2			○								兼1	
化学英語Ⅱ		3後	2			○								兼1		
小計(3科目)	—	6			—			1						兼2		
専門基礎科目	熱力学Ⅰ	2前	2			○			1							
	熱力学Ⅱ	2後	2			○				1						
	量子化学	2後	2			○			1							
	分子物理化学	3前	2			○								兼1		
	分析化学Ⅰ	2前	2			○			1							
	分析化学Ⅱ	2後	2			○			1							
	基礎無機化学	2前	2			○			1							
	無機化学Ⅰ	2後	2			○			1							
	無機化学Ⅱ	3前	2			○			1							
	基礎有機化学	1前	2			○			1							
	有機化学Ⅰ	1後	2			○				1						
	有機化学Ⅱ	2前	2			○			1							
有機化学Ⅲ	3前	2			○			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門科目	専門基幹科目	高分子設計基礎	2前	2			○			1									
	高分子物性	2後	2				○				1								
	化学工学Ⅰ	2後	2				○			1									
	化学工学Ⅱ	3前	2				○				1								
	小計（17科目）	—	34				—			9	4						兼1		
	専門総合科目	物性化学	3後		2			○			1								
	機器分析化学	3後		2				○			1							兼1	
	無機材料化学	3後		2				○											
	生物有機化学	3後		2				○				1							
	スペクトル有機化学	3前		2				○				1		1					
	有機工業化学	2後		2				○			1								
	物質機能工学	3後		2				○			2	1							
	物質材料学	3後		2				○										兼1	
	反応工学	3後		2				○			1								
	応用化学実験Ⅰ	3前	3												3		6		
	応用化学実験Ⅱ	3前	3												3		2		
	応用化学実験Ⅲ	3後	3												2		3		
	安全工学	2前	2					○										兼1	
	セミナー	4通	4							9	5								
	卒業研究	4通	8							9	5						8		
	小計（15科目）	—	23	18				—		9	5						8		
	総合工学科目	技術論	4前		1			○											兼1
	人間工学	4前		1				○											兼1
	品質管理	4後		1				○											兼1
	エネルギー管理	4後		1				○											兼1
特許法	4前		1				○											兼1	
工業経済	4後		2				○											兼1	
環境科学序説	4前		2				○											兼1	
小計（7科目）	—		9				—											兼7	
金型創成技術科目	金型概論	4前		2			○											兼4	
金型設計基礎	4前		2				○											兼4	
金型設計実習	4前		1															兼4	
金型加工実習Ⅰ	4前		1															兼4	
金型加工実習Ⅱ	4前		1															兼4	
成形加工実習	4前		1															兼4	
小計（6科目）	—		8				—											兼24	
教職科目	職業指導	4通		4				○										兼1	
小計（1科目）	—		4				—											兼1	
合計（252科目）		—	88	397	4		—		9	5			8				兼248	—	
学位又は称号	学士（工学）		学位又は学科の分野			工学関係													

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は年間68単位、2年次以降は60単位とする。</p> <p>○教養科目</p> <p>以下の条件を満たして34単位以上修得すること。</p> <p>初年次セミナー 2単位 英語 4単位 第二外国語 2単位 教養基礎 4単位</p> <p>選択科目：人文科学 6単位 社会科学 6単位 自然科学 4単位 スポーツ・健康科学 2単位 複合領域 2単位 自由選択科目 2単位</p> <p>○専門科目</p> <p>以下の条件を満たして98単位以上修得すること。</p> <p>工学基礎科目必修科目9単位を含み15単位 専門基礎科目必修科目7単位を含み11単位 専門基幹科目必修科目22単位を含み34単位 専門総合科目必修科目13単位</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部電気電子工学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	ホムパス	
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2		
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>															
	哲学入門	1~4前後		2			○								兼1	
	人間・死生学	1~4前後		2			○								兼7	
	近現代思想	1~4前後		2			○								兼2	
	科学論	1~4前後		2			○								兼4	
	東洋・日本思想	1~4前後		2			○								兼2	
	倫理学	1~4前後		2			○								兼1	
	宗教学	1~4前後		2			○								兼2	
	<b>【歴史学分野】</b>															
	歴史学入門	1~4前後		2			○								兼2	
	西洋・中東史	1~4前後		2			○								兼2	
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2			○								兼2	
	世界近現代史	1~4前後		2			○								兼3	
	日本史	1~4前後		2			○								兼2	
	日本近世史	1~4前後		2			○								兼1	
	日本近・現代史	1~4前後		2			○								兼2	
	民俗学・人類学	1~4前後		2			○								兼2	
	<b>【文学分野】</b>															
	文学	1~4前後		2			○								兼2	
	外国文学	1~4前後		2			○								兼3	
	日本文学	1~4前後		2			○								兼2	
	<b>【言語分野】</b>															
	言語学入門	1~4前後		2			○								兼2	
	言語学	1~4前後		2			○								兼3	
	日本語表現論	1~4前後		2			○								兼4	
	<b>【心理・行動学分野】</b>															
	心理学入門	1~4前後		2			○								兼5	
	心理学	1~4前後		2			○								兼2	
	心理学実験	1~4前後		1					○						兼1	
	障害児行動論	1~4前後		2			○								兼1	
	<b>【文化・芸術分野】</b>															
	西洋文化論	1~4前後		2			○								兼3	
日本文化論	1~4前後		2			○								兼7		
現代文化論	1~4前後		2			○								兼9		
異文化論	1~4前後		2			○								兼2		
美術論	1~4前後		2			○								兼3		
音楽論	1~4前後		2			○								兼3		
<b>【古典・総合分野】</b>																
古典を読む	1~4前後		2			○								兼3		
小計(32科目)	—		63			—								兼32		
社会科学	<b>【法学分野】</b>															
	法学入門	1~4前後		2			○								兼1	
	日本国憲法	1~4前後		2			○								兼4	
	民事法	1~4前後		2			○								兼2	
社会法	1~4前後		2			○								兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○									兼2	
	裁判法	1～4前後		2		○									兼1	
	刑事法	1～4前後		2		○									兼1	
	国際法	1～4前後		2		○									兼2	
	知的財産権法	1～4前後		2		○									兼2	
	<b>【政治学分野】</b>															
	政治学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代政治論	1～4前後		2		○									兼3	
	平和学	1～4前後		2		○									兼2	
	<b>【経営学分野】</b>															
	経済学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	経済学史	1～4前後		2		○									兼1	
	財政学	1～4前後		2		○									兼1	
	国際経済論	1～4前後		2		○									兼1	
	マクロ経済学	1～4前後		2		○									兼1	
	経営学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	マネージメント論	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【社会学分野】</b>															
	社会学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代社会論	1～4前後		2		○									兼13	
	メディア論	1～4前後		2		○									兼2	
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○									兼5	
	<b>【地理・地域論分野】</b>															
	地理学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	地理学	1～4前後		2		○									兼3	
	地域論	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【教育学分野】</b>															
	教育論	1～4前後		2		○									兼9	
	<b>【社会・総合】</b>															
	社会総合	1～4前後		2		○									兼6	
小計（28科目）		—		56		—									兼28	
自然科学	<b>【数学分野】</b>															
	教養の数学	1～4前後		2		○									兼2	
	基礎代数学	1～4前後		2		○									兼2	
	基礎解析学	1～4前後		2		○									兼3	
	基礎統計学	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【物理学分野】</b>															
	物理学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	教養の物理学	1～4前後		2		○									兼10	
	現代物理学	1～4前後		2		○									兼1	
	基礎物理学				2		○								兼1	卒業要件外
	<b>【化学分野】</b>															
	教養の化学	1～4前後		2		○									兼14	
	現代科学	1～4前後		2		○									兼1	
	基礎化学				2		○								兼4	卒業要件外
	<b>【生物学分野】</b>															
	生物学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	教養の生物学	1～4前後		2		○									兼20	
現代生物学	1～4前後		2		○									兼7		
<b>【医学分野】</b>																
教養の医学	1～4前後		2		○									兼4		
現代医学	1～4前後		2		○									兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17 集中	
小計（23科目）	—		42	4		—								兼23	
教養科目	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2		○										兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2		○										兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
	<b>【キャリア形成】</b>														
	ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
複合 領域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
	小計（46科目）	—	2	90			—								兼46
教養 科目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学	バドミントンAⅠ	1～4前後		2		○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
	雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—		72			—								兼35	
英 語	英語1	1前	1			○									兼19
	英語2	1後	1			○									兼22
	英語3	2前	1			○									兼14
	英語4	2後	1			○									兼11
	小計（4科目）	—	4			—									兼12

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前	1			○								兼7	
		ドイツ語Ⅱ	1後	1			○								兼7	
		フランス語Ⅰ	1前	1			○								兼3	
		フランス語Ⅱ	1後	1			○								兼3	
		ポルトガル語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		ポルトガル語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
		中国語Ⅰ	1前	1			○								兼6	
		中国語Ⅱ	1後	1			○								兼6	
		朝鮮・韓国語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		朝鮮・韓国語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	小計(10科目)	—		10			—								兼10	
	日本語・日本事情	日本語DⅠ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
		日本語DⅡ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
日本語DⅢ		1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ	
日本事情AⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情AⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
クロスカルチャー・コミュニケーション		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
小計(8科目)	—		13			—								兼8		
教養基礎	現代テクノロジーの展開ⅠD	1後	2			○				1				兼1		
	現代テクノロジーの展開ⅡD	2前	2			○				1				兼1		
	小計(2科目)	—	4			—				2				兼2		
専門科目	工学基礎科目	解析学Ⅰ	1前	2			○								兼1	
		解析学Ⅱ	1後	2			○								兼1	
		代数学Ⅰ	1前	2			○								兼1	
		代数学Ⅱ	1後	2			○								兼1	
		力学	1前	2			○				1					
		電磁気学	1後	2			○								兼1	
		振動・波動の物理	1後	2			○								兼1	
		量子の物理	2前	2			○								兼1	
		基礎化学	1前	2			○								兼1	
		材料の化学	3後	2			○								兼1	
		生物学	3前	2			○								兼1	
		地学	1前	2			○								兼1	
		工学基礎実験	2前	1					○		1		1			
小計(13科目)	—	13	12			—			1	1		1		兼11		
専門基礎科目	電気電子英語Ⅰ	3前	2			○								兼1		
	電気電子英語Ⅱ	3後	2			○								兼1		
	小計(2科目)	—	4			—								兼2		
専門基幹科目	ベクトル解析	1後	2			○				1						
	確率・統計	2前	2			○								兼1		
	電気電子数学	1後	2			○				1						
	電磁気学Ⅰ	2前	2			○					1					
	電磁気学演習Ⅰ	2前	2			○				1	2					
	電磁気学Ⅱ	2後	2			○				1						
	電磁気学演習Ⅱ	2後	2			○					2					
	電気回路学Ⅰ	2前	2			○					1					
	電気回路学演習Ⅰ	2前	2			○					2					
	電気回路学Ⅱ	2後	2			○					1					
	電気回路学演習Ⅱ	2後	2			○					1	1				
	電子回路学Ⅰ	2後	2			○				1						
	電子回路学演習Ⅰ	2後	2			○						2				
電子回路学Ⅱ	3前	2			○					1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 基幹科目	電子回路学演習Ⅱ	3前		2		○						2				
	物性基礎	2後	2			○				1						
	制御工学基礎	3前	1					○				1				
	電気電子安全工学	1後	2					○		1						
	小計（18科目）	—	15	20				—		4	9		4		兼1	
	専門 総合科目	半導体工学	3前		2		○				1					
		電気電子材料学	3前		2		○				1					
		デバイス工学	3後		2		○				1					
		プログラミング基礎	2前		2		○					1				
		プログラミング応用	2後		2		○				1					
		情報理論	3前		2		○				1					
		電磁波工学	3前		2		○				1					
		回路網設計	3後		2		○					1				
		計算機工学Ⅰ	3前		2		○					1				
		計算機工学Ⅱ	3後		2		○					1				
		情報通信工学	3後		2		○				1					
		信号処理	3後		2		○					1				
		システム制御	3後		2		○						1			
		集積回路	3後		2		○				1					
		システム工学	4前		2		○					1				
電気機器		3前		2		○					1					
電力システム		3前		2		○				1						
電気電子計測学		3前		2		○				1						
パワーエレクトロニクス		3後		2		○					1					
電力工学基礎		3後		2		○				1						
計算機支援設計製図	3後		2		○					1						
電気法規及び施設管理	4前		2		○									兼1		
電気電子工学実験Ⅰ	2後	2						○	2	2		1				
電気電子工学実験Ⅱ	3前	2						○	2	2		1				
電気電子工学実験Ⅲ	3後	2						○	2	2		1				
電気電子工学実験Ⅳ	4前	2						○	1	3		1				
卒業研究	4通	6						○	7	9		4				
小計（27科目）	—	14	44					—	7	9		4		兼1		
総合 工学科目	技術論	4前		1		○									兼1 集中	
	人間工学	4前		1		○									兼1 集中	
	品質管理	4後		1		○									兼1 集中	
	エネルギー管理	4後		1		○									兼1 集中	
	特許法	4前		1		○									兼1 集中	
	工業経済	4後		2		○									兼1 集中	
	環境科学序説	4前		2		○									兼1 集中	
小計（7科目）	—		9					—						兼7		
金型 創成 技術 科目	金型概論	4前		2		○									兼4	
	金型設計基礎	4前		2		○									兼4	
	金型設計実習	4前		1											兼4	
	金型加工実習Ⅰ	4前		1											兼4	
	金型加工実習Ⅱ	4前		1											兼4	
	成形加工実習	4前		1											兼4	
小計（6科目）	—		8					—						兼24		
教職 科目	職業指導	4通		4		○									兼1	
	小計（1科目）	—		4				—							兼1	
合計（264科目）		—	58	443	4			—	7	9		4		兼245	—	

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は年間68単位、2年次以降は60単位とする。 ○教養科目 以下の条件を満たして34単位以上修得すること。 初年次セミナー 2単位 英語 4単位 第二外国語 2単位 教養基礎 4単位 選択科目：人文科学 6単位 社会科学 6単位 自然科学 4単位 スポーツ・健康科学 2単位 複合領域 2単位 自由選択科目 2単位 ○専門科目 以下の条件を満たして98単位以上修得すること。 工学基礎科目必修科目13単位を含み17単位 専門基礎科目必修科目4単位 専門基幹科目及び専門総合科目必修科目36単位		1 学年の学期区分	2 学期
		1 学期の授業期間	1 5 週
		1 時限の授業時間	9 0 分

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部生命工学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	ホムパス
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2	
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>														
	哲学入門	1~4前後		2			○								兼1
	人間・死生学	1~4前後		2			○								兼7
	近現代思想	1~4前後		2			○								兼2
	科学論	1~4前後		2			○								兼4
	東洋・日本思想	1~4前後		2			○								兼2
	倫理学	1~4前後		2			○								兼1
	宗教学	1~4前後		2			○								兼2
	<b>【歴史学分野】</b>														
	歴史学入門	1~4前後		2			○								兼2
	西洋・中東史	1~4前後		2			○								兼2
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2			○								兼2
	世界近現代史	1~4前後		2			○								兼3
	日本史	1~4前後		2			○								兼2
	日本近世史	1~4前後		2			○								兼1
	日本近・現代史	1~4前後		2			○								兼2
	民俗学・人類学	1~4前後		2			○								兼2
	<b>【文学分野】</b>														
	文学	1~4前後		2			○								兼2
	外国文学	1~4前後		2			○								兼3
	日本文学	1~4前後		2			○								兼2
	<b>【言語分野】</b>														
	言語学入門	1~4前後		2			○								兼2
	言語学	1~4前後		2			○								兼3
	日本語表現論	1~4前後		2			○								兼4
	<b>【心理・行動学分野】</b>														
	心理学入門	1~4前後		2			○								兼5
	心理学	1~4前後		2			○								兼2
	心理学実験	1~4前後		1					○						兼1
	障害児行動論	1~4前後		2			○								兼1
	<b>【文化・芸術分野】</b>														
	西洋文化論	1~4前後		2			○								兼3
日本文化論	1~4前後		2			○								兼7	
現代文化論	1~4前後		2			○								兼9	
異文化論	1~4前後		2			○								兼2	
美術論	1~4前後		2			○								兼3	
音楽論	1~4前後		2			○								兼3	
<b>【古典・総合分野】</b>															
古典を読む	1~4前後		2			○								兼3	
小計(32科目)	—			63			—							兼32	
社会科学	<b>【法学分野】</b>														
	法学入門	1~4前後		2			○								兼1
	日本国憲法	1~4前後		2			○								兼4
	民事法	1~4前後		2			○								兼2
社会法	1~4前後		2			○								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○									兼2	
	裁判法	1～4前後		2		○									兼1	
	刑事法	1～4前後		2		○									兼1	
	国際法	1～4前後		2		○									兼2	
	知的財産権法	1～4前後		2		○									兼2	
	<b>【政治学分野】</b>															
	政治学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代政治論	1～4前後		2		○									兼3	
	平和学	1～4前後		2		○									兼2	
	<b>【経営学分野】</b>															
	経済学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	経済学史	1～4前後		2		○									兼1	
	財政学	1～4前後		2		○									兼1	
	国際経済論	1～4前後		2		○									兼1	
	マクロ経済学	1～4前後		2		○									兼1	
	経営学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	マネージメント論	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【社会学分野】</b>															
	社会学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代社会論	1～4前後		2		○									兼13	
	メディア論	1～4前後		2		○									兼2	
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○									兼5	
	<b>【地理・地域論分野】</b>															
	地理学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	地理学	1～4前後		2		○									兼3	
	地域論	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【教育学分野】</b>															
	教育論	1～4前後		2		○									兼9	
	<b>【社会・総合】</b>															
	社会総合	1～4前後		2		○									兼6	
小計（28科目）		—		56		—									兼28	
自然科学	<b>【数学分野】</b>															
	教養の数学	1～4前後		2		○									兼2	
	基礎代数学	1～4前後		2		○									兼2	
	基礎解析学	1～4前後		2		○									兼3	
	基礎統計学	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【物理学分野】</b>															
	物理学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	教養の物理学	1～4前後		2		○									兼10	
	現代物理学	1～4前後		2		○									兼1	
	基礎物理学				2		○								兼1	卒業要件外
	<b>【化学分野】</b>															
	教養の化学	1～4前後		2		○									兼14	
	現代科学	1～4前後		2		○									兼1	
	基礎化学				2		○								兼4	卒業要件外
	<b>【生物学分野】</b>															
	生物学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	教養の生物学	1～4前後		2		○									兼20	
	現代生物学	1～4前後		2		○									兼7	
<b>【医学分野】</b>																
教養の医学	1～4前後		2		○									兼4		
現代医学	1～4前後		2		○									兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17 集中	
小計（23科目）	—		42	4		—								兼23	
教養科目	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2		○										兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2		○										兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
	<b>【キャリア形成】</b>														
	ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
複合 領域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
	小計（46科目）	—	2	90			—								兼46
教養 科目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学	バドミントンAⅠ	1～4前後		2		○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
	雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—		72			—								兼35	
英 語	英語1	1前	1			○								兼19	
	英語2	1後	1			○								兼22	
	英語3	2前	1			○								兼14	
	英語4	2後	1			○								兼11	
	小計（4科目）	—	4			—								兼12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前	1			○								兼7	
		ドイツ語Ⅱ	1後	1			○								兼7	
		フランス語Ⅰ	1前	1			○								兼3	
		フランス語Ⅱ	1後	1			○								兼3	
		ポルトガル語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		ポルトガル語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
		中国語Ⅰ	1前	1			○								兼6	
		中国語Ⅱ	1後	1			○								兼6	
		朝鮮・韓国語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		朝鮮・韓国語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	小計(10科目)	—		10			—								兼10	
	日本語・日本事情	日本語DⅠ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
		日本語DⅡ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
日本語DⅢ		1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ	
日本事情AⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情AⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
クロスカルチャー・コミュニケーション		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
小計(8科目)	—		13			—								兼8		
教養基礎	現代テクノロジーの展開ⅠC	1前	2			○			5	1				兼1		
	現代テクノロジーの展開ⅡC	1後	2			○			1			1				
	小計(2科目)	—	4			—			6	1		1		兼1		
専門科目	工学基礎科目	解析学Ⅰ	1前	2		○									兼1	
		解析学Ⅱ	1後	2		○									兼1	
		代数学Ⅰ	1前	2		○									兼1	
		代数学Ⅱ	1後	2		○									兼1	
		力学	1前	2		○									兼1	
		電磁気学	1後	2		○									兼1	
		振動・波動の物理	2前	2		○									兼1	
		量子の物理	2前	2		○									兼1	
		基礎化学	1前	2		○									兼1	
		材料の化学	2前	2		○									兼1	
		生物学	1後	2		○				1						
		地学	1後	2		○									兼1	
		工学基礎実験	2前	1					○						兼1	
	小計(13科目)	—	3	22			—			1				兼12		
	専門基礎科目	コンピュータ・プログラミング	1後	2			○			1			1			
生命工学英語Ⅰ		3前	2			○								兼1		
生命工学英語Ⅱ		3後	2			○								兼1		
小計(3科目)	—	6			—			1			1		兼2			
専門基幹科目	環境生物学	1前		2		○								兼1		
	生物有機化学Ⅰ	2後	2			○								兼1		
	生物物理化学Ⅰ	3前	2			○			1							
	生物化学Ⅰ	2前	2			○			1					兼1		
	酵素工学	3前	2			○								兼1		
	分子生物学Ⅰ	2後	2			○			1							
	遺伝子工学	3後		2		○				1				兼1		
	醗酵生理学	2後	2			○								兼1		
	基礎有機化学Ⅰ	1後	2			○			1	1						
	基礎有機化学Ⅱ	2前		2		○								兼1		
	生物数学	2前		2		○			1							
	基礎物理化学Ⅰ	2前	2			○			1							
基礎物理化学Ⅱ	2後		2		○			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	専門基幹科目	基礎物理化学Ⅲ	2前	2		○			1	1					兼1	
	基礎生理学	1後	2		○											
	基礎物理学	1前	2		○			1								
	小計(16科目)	—	18	14		—			6	3					兼7	
	専門総合科目	生物機器分析学	2後	2			○				1					兼1 集中
		生物化学実験法	2後	2			○				1					
		生物有機化学Ⅱ	3前		2		○									
		精密有機化学	3後		2		○				1					
		生物物理化学Ⅱ	3後		2		○			1						
		生物化学Ⅱ	2後		2		○									
		代謝生理学	3後	2			○			1						
		生体反応化学	3後		2		○			1						
		分子生物学Ⅱ	3前		2		○			1						
		生物生産工学Ⅰ	3前	2			○				1					
		生物生産工学Ⅱ	3後		2		○				1					
		生体情報科学Ⅰ	2後	2			○				1					
		生体情報科学Ⅱ	3前		2		○			1						
		神経工学	3後		2		○			1						
		医用工学	3前		2		○			1						
		化学・生物安全工学	3前		2		○			1	1					
		バイオプロセス工学	4前		1		○									
	生命工学実験Ⅰ	3前	5					○	3	3						
	生命工学実験Ⅱ	3後	5					○	3	3						
	課題セミナーⅠ	4前	2					○	6	7						
	課題セミナーⅡ	4後	2					○	6	7						
卒業研究	4通	8					○	6	7		5					
小計(22科目)	—	32	23		—			6	7		5			兼6		
総合工学科目	技術論	4前		1		○									兼1 集中	
	人間工学	4前		1		○									兼1 集中	
	品質管理	4後		1		○									兼1 集中	
	エネルギー管理	4後		1		○									兼1 集中	
	特許法	4前		1		○									兼1 集中	
	工業経済	4後		2		○									兼1 集中	
	環境科学序説	4前		2		○									兼1 集中	
小計(7科目)	—		9		—									兼7		
金型創成技術科目	金型概論	4前		2		○									兼4	
	金型設計基礎	4前		2		○									兼4	
	金型設計実習	4前		1											兼4	
	金型加工実習Ⅰ	4前		1											兼4	
	金型加工実習Ⅱ	4前		1											兼4	
	成形加工実習	4前		1											兼4	
小計(6科目)	—		8		—									兼24		
教職科目	職業指導	4通		4		○									兼1	
	小計(1科目)	—		4		—									兼1	
合計(258科目)		—	71	426	4	—			6	7		5			兼256	
学位又は称号	学士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は年間68単位、2年次以降は60単位とする。</p> <p>○教養科目 以下の条件を満たして34単位以上修得すること。 初年次セミナー 2単位 英語 4単位 第二外国語 2単位 教養基礎 4単位</p> <p>選択科目：人文科学 6単位 社会科学 6単位 自然科学 4単位 スポーツ・健康科学 2単位 複合領域 2単位 自由選択科目 2単位</p> <p>○専門科目 以下の条件を満たして98単位以上修得すること。 工学基礎科目必修科目3単位を含み15単位 専門基礎科目必修科目6単位 専門基幹科目必修科目18単位 専門総合科目必修科目32単位</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部応用情報学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	ホムパス
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2	
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>														
	哲学入門	1~4前後		2		○									兼1
	人間・死生学	1~4前後		2		○									兼7
	近現代思想	1~4前後		2		○									兼2
	科学論	1~4前後		2		○									兼4
	東洋・日本思想	1~4前後		2		○									兼2
	倫理学	1~4前後		2		○									兼1
	宗教学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【歴史学分野】</b>														
	歴史学入門	1~4前後		2		○									兼2
	西洋・中東史	1~4前後		2		○									兼2
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2		○									兼2
	世界近現代史	1~4前後		2		○									兼3
	日本史	1~4前後		2		○									兼2
	日本近世史	1~4前後		2		○									兼1
	日本近・現代史	1~4前後		2		○									兼2
	民俗学・人類学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【文学分野】</b>														
	文学	1~4前後		2		○									兼2
	外国文学	1~4前後		2		○									兼3
	日本文学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【言語分野】</b>														
	言語学入門	1~4前後		2		○									兼2
	言語学	1~4前後		2		○									兼3
	日本語表現論	1~4前後		2		○									兼4
	<b>【心理・行動学分野】</b>														
	心理学入門	1~4前後		2		○									兼5
	心理学	1~4前後		2		○									兼2
	心理学実験	1~4前後		1				○							兼1
	障害児行動論	1~4前後		2		○									兼1
	<b>【文化・芸術分野】</b>														
	西洋文化論	1~4前後		2		○									兼3
日本文化論	1~4前後		2		○									兼7	
現代文化論	1~4前後		2		○									兼9	
異文化論	1~4前後		2		○									兼2	
美術論	1~4前後		2		○									兼3	
音楽論	1~4前後		2		○									兼3	
<b>【古典・総合分野】</b>															
古典を読む	1~4前後		2		○									兼3	
小計(32科目)	—		63			—								兼32	
社会科学	<b>【法学分野】</b>														
	法学入門	1~4前後		2		○									兼1
	日本国憲法	1~4前後		2		○									兼4
	民事法	1~4前後		2		○									兼2
社会法	1~4前後		2		○									兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○										兼2	
	裁判法	1～4前後		2		○										兼1	
	刑事法	1～4前後		2		○										兼1	
	国際法	1～4前後		2		○										兼2	
	知的財産権法	1～4前後		2		○										兼2	
	<b>【政治学分野】</b>																
	政治学入門	1～4前後		2		○											兼1
	現代政治論	1～4前後		2		○											兼3
	平和学	1～4前後		2		○											兼2
	<b>【経営学分野】</b>																
	経済学入門	1～4前後		2		○											兼2
	経済学史	1～4前後		2		○											兼1
	財政学	1～4前後		2		○											兼1
	国際経済論	1～4前後		2		○											兼1
	マクロ経済学	1～4前後		2		○											兼1
	経営学入門	1～4前後		2		○											兼2
	マネージメント論	1～4前後		2		○											兼1
	<b>【社会学分野】</b>																
	社会学入門	1～4前後		2		○											兼1
	現代社会論	1～4前後		2		○											兼13
	メディア論	1～4前後		2		○											兼2
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○											兼5
	<b>【地理・地域論分野】</b>																
	地理学入門	1～4前後		2		○											兼1
	地理学	1～4前後		2		○											兼3
	地域論	1～4前後		2		○											兼1
	<b>【教育学分野】</b>																
	教育論	1～4前後		2		○											兼9
	<b>【社会・総合】</b>																
	社会総合	1～4前後		2		○											兼6
小計（28科目）		—		56		—										兼28	
自然科学	<b>【数学分野】</b>																
	教養の数学	1～4前後		2		○											兼2
	基礎代数学	1～4前後		2		○											兼2
	基礎解析学	1～4前後		2		○											兼3
	基礎統計学	1～4前後		2		○											兼1
	<b>【物理学分野】</b>																
	物理学入門	1～4前後		2		○											兼2
	教養の物理学	1～4前後		2		○											兼10
	現代物理学	1～4前後		2		○											兼1
	基礎物理学			2		○											兼1 卒業要件外
	<b>【化学分野】</b>																
	教養の化学	1～4前後		2		○											兼14
	現代科学	1～4前後		2		○											兼1
	基礎化学			2		○											兼4 卒業要件外
	<b>【生物学分野】</b>																
	生物学入門	1～4前後		2		○											兼2
	教養の生物学	1～4前後		2		○											兼20
	現代生物学	1～4前後		2		○											兼7
<b>【医学分野】</b>																	
教養の医学	1～4前後		2		○											兼4	
現代医学	1～4前後		2		○											兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17 集中	
小計（23科目）	—		42	4		—								兼23	
教養科目 複合領域	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2		○										兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2		○										兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
<b>【キャリア形成】</b>															
ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10	

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
複合領域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
	小計（46科目）	—		2	90		—								
教養科目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	スバドミントンAⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
	雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—			72		—									兼35
英語	英語1	1前	1				○								兼19
	英語2	1後	1				○								兼22
	英語3	2前	1				○								兼14
	英語4	2後	1				○								兼11
	小計（4科目）	—		4			—								兼12

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前	1			○								兼7	
		ドイツ語Ⅱ	1後	1			○								兼7	
		フランス語Ⅰ	1前	1			○								兼3	
		フランス語Ⅱ	1後	1			○								兼3	
		ポルトガル語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		ポルトガル語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
		中国語Ⅰ	1前	1			○								兼6	
		中国語Ⅱ	1後	1			○								兼6	
		朝鮮・韓国語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		朝鮮・韓国語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	小計(10科目)	—		10			—							兼10		
教養科目	日本語・日本事情	日本語DⅠ	1~4前後	1			○								兼1 留学生のみ	
		日本語DⅡ	1~4前後	1			○								兼1 留学生のみ	
		日本語DⅢ	1~4前後	1			○								兼1 留学生のみ	
		日本事情AⅠ	1~4前後	2			○								兼1 留学生のみ	
		日本事情AⅡ	1~4前後	2			○								兼1 留学生のみ	
		日本事情CⅠ	1~4前後	2			○								兼1 留学生のみ	
		日本事情CⅡ	1~4前後	2			○								兼1 留学生のみ	
		クロスカルチャー・コミュニケーション	1~4前後	2			○									兼1 留学生のみ
			小計(8科目)	—		13			—							兼8
教養基礎	現代テクノロジーの展開ⅠD	1後	2			○				1				兼1		
	現代テクノロジーの展開ⅡD	2前	2			○				1				兼1		
		小計(2科目)	—	4			—			2				兼2		
専門科目	工学基礎科目	解析学Ⅰ	1前	2.5			○			1						
		解析学Ⅱ	1後	2.5			○			1						
		代数学Ⅰ	1前	2.5			○				1					
		代数学Ⅱ	1後	2.5			○				1					
		力学	1前	2			○								兼1	
		電磁気学	1後	2			○								兼1	
		振動・波動の物理	2後	2			○								兼1	
		量子の物理	2前	2			○				1					
		基礎化学	2後	2			○								兼1	
		材料の化学	3後	2			○								兼1	
		生物学	3後	2			○								兼2	
		地学	1前	2			○								兼1	
		小計(12科目)	—	14	12			—		2	3				兼8	
	専門科目	専門基礎科目	応用情報実験Ⅰ	2前	2				○							兼2
			応用情報実験Ⅱ	2後	2							1				兼1
応用情報実験Ⅲ			3前	2							1		1			
Technical EnglishⅠ			3前	2			○								兼1	
Technical EnglishⅡ			3後	2			○								兼1	
	小計(5科目)	—	10				—			2		1		兼5		
専門科目	専門基礎科目	情報数学Ⅰ	1前	2.5			○	○		1						
		情報数学Ⅱ	1後	2.5			○	○		1						
		確率統計Ⅰ	2前	2.5			○	○			1					
		確率統計Ⅱ	2後	2			○					1				
		データ解析	3後	2			○			1						
		オートマトン理論	2後	2			○				1					
		情報理論	2後	2			○			1						
		微分方程式	2前	2.5			○	○		1						
		信号解析	3前	2			○			1						
		応用フーリエ解析	2後	2			○			1						
		日本語文章表現	1前	2			○								兼1	
アルゴリズム論	2前	2			○				1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
専門 基幹 科目	プログラミング基礎Ⅰ	1前	2			○				1					兼1 兼1 兼3
	プログラミング基礎Ⅱ	1後	2			○				1					
	プログラミング実践Ⅰ	2前	2			○					1				
	プログラミング実践Ⅱ	2後	2			○					1				
	プログラミング実践Ⅲ	3前	2			○					1				
	計算機工学Ⅰ	2前		2		○									
	計算機工学Ⅱ	2後		2		○				1					
	情報ネットワーク	3前		2		○									
	電気・電子回路	2前		2		○				1					
	小計（21科目）	—	12	32			—			7	7		4		
専門 総合 科目	パターン認識	3前		2		○				1					兼1 兼1 兼1 兼2 兼2 兼2 兼8
	数値解析	3前		2		○				1					
	画像情報処理	3前		2		○									
	暗号と情報セキュリティ	3後		2		○				1					
	通信工学	3後		2		○				1					
	人工知能とアルゴリズム	3後		2		○				1					
	VRとヒューマン・インターフェイス	3後		2		○					1				
	データベース論	3後		2		○					1				
	符号理論	3前		2		○					1				
	応用情報セミナーⅠ	3前	2			○		○		3	1		1		
	応用情報セミナーⅡ	3後	2					○		3	4		1		
応用情報セミナーⅢ	4前	2					○		3	3		2			
卒業研究	4通	8					○		9	8		4			
小計（13科目）	—	14	18			—			9	8		4			
総合 工学 科目	技術論	4前		1		○									兼1 集中
	人間工学	4前		1		○									兼1 集中
	品質管理	4後		1		○									兼1 集中
	エネルギー管理	4後		1		○									兼1 集中
	特許法	4前		1		○									兼1 集中
	工業経済	4後		2		○									兼1 集中
	環境科学序説	4前		2		○									兼1 集中
	小計（7科目）	—		9			—								兼7
金型 創成 技術 科目	金型概論	4前		2		○									兼4
	金型設計基礎	4前		2		○									兼4
	金型設計実習	4前		1											兼4
	金型加工実習Ⅰ	4前		1											兼4
	金型加工実習Ⅱ	4前		1											兼4
	成形加工実習	4前		1											兼4
	小計（6科目）	—		8			—								兼24
教職 科目	職業指導	4通		4		○									兼1
	小計（1科目）	—		4			—								兼1
合計（255科目）		—	62	429	4		—			9	8		4		兼254
学位又は称号	学士（工学）		学位又は学科の分野			工学関係									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は年間68単位、2年次以降は60単位とする。</p> <p>○教養科目 以下の条件を満たして34単位以上修得すること。 初年次セミナー 2単位 英語 4単位 第二外国語 2単位 教養基礎 4単位</p> <p>選択科目：人文科学 6単位 社会科学 6単位 自然科学 4単位 スポーツ・健康科学 2単位 複合領域 2単位 自由選択科目 2単位</p> <p>○専門科目 以下の条件を満たして98単位以上修得すること。 工学基礎科目必修科目14単位を含み20単位 専門基礎科目必修科目10単位 専門基幹科目必修科目12単位を含み38単位 専門総合科目必修科目14単位を含み22単位</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部機能材料工学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	オムニバス
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2	
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>														
	哲学入門	1~4前後		2		○									兼1
	人間・死生学	1~4前後		2		○									兼7
	近現代思想	1~4前後		2		○									兼2
	科学論	1~4前後		2		○									兼4
	東洋・日本思想	1~4前後		2		○									兼2
	倫理学	1~4前後		2		○									兼1
	宗教学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【歴史学分野】</b>														
	歴史学入門	1~4前後		2		○									兼2
	西洋・中東史	1~4前後		2		○									兼2
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2		○									兼2
	世界近現代史	1~4前後		2		○									兼3
	日本史	1~4前後		2		○									兼2
	日本近世史	1~4前後		2		○									兼1
	日本近・現代史	1~4前後		2		○									兼2
	民俗学・人類学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【文学分野】</b>														
	文学	1~4前後		2		○									兼2
	外国文学	1~4前後		2		○									兼3
	日本文学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【言語分野】</b>														
	言語学入門	1~4前後		2		○									兼2
	言語学	1~4前後		2		○									兼3
	日本語表現論	1~4前後		2		○									兼4
	<b>【心理・行動学分野】</b>														
	心理学入門	1~4前後		2		○									兼5
	心理学	1~4前後		2		○									兼2
	心理学実験	1~4前後		1				○							兼1
	障害児行動論	1~4前後		2		○									兼1
	<b>【文化・芸術分野】</b>														
	西洋文化論	1~4前後		2		○									兼3
日本文化論	1~4前後		2		○									兼7	
現代文化論	1~4前後		2		○									兼9	
異文化論	1~4前後		2		○									兼2	
美術論	1~4前後		2		○									兼3	
音楽論	1~4前後		2		○									兼3	
<b>【古典・総合分野】</b>															
古典を読む	1~4前後		2		○									兼3	
小計(32科目)	—			63		—								兼32	
社会科学	<b>【法学分野】</b>														
	法学入門	1~4前後		2		○									兼1
	日本国憲法	1~4前後		2		○									兼4
	民事法	1~4前後		2		○									兼2
社会法	1~4前後		2		○									兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○									兼2
	裁判法	1～4前後		2		○									兼1
	刑事法	1～4前後		2		○									兼1
	国際法	1～4前後		2		○									兼2
	知的財産権法	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【政治学分野】</b>														
	政治学入門	1～4前後		2		○									兼1
	現代政治論	1～4前後		2		○									兼3
	平和学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【経営学分野】</b>														
	経済学入門	1～4前後		2		○									兼2
	経済学史	1～4前後		2		○									兼1
	財政学	1～4前後		2		○									兼1
	国際経済論	1～4前後		2		○									兼1
	マクロ経済学	1～4前後		2		○									兼1
	経営学入門	1～4前後		2		○									兼2
	マネージメント論	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【社会学分野】</b>														
	社会学入門	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会論	1～4前後		2		○									兼13
	メディア論	1～4前後		2		○									兼2
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○									兼5
	<b>【地理・地域論分野】</b>														
	地理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	地理学	1～4前後		2		○									兼3
	地域論	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【教育学分野】</b>														
	教育論	1～4前後		2		○									兼9
	<b>【社会・総合】</b>														
	社会総合	1～4前後		2		○									兼6
小計（28科目）		—		56		—								兼28	
自然科学	<b>【数学分野】</b>														
	教養の数学	1～4前後		2		○									兼2
	基礎代数学	1～4前後		2		○									兼2
	基礎解析学	1～4前後		2		○									兼3
	基礎統計学	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【物理学分野】</b>														
	物理学入門	1～4前後		2		○									兼2
	教養の物理学	1～4前後		2		○									兼10
	現代物理学	1～4前後		2		○									兼1
	基礎物理学				2		○								兼1 卒業要件外
	<b>【化学分野】</b>														
	教養の化学	1～4前後		2		○									兼14
	現代科学	1～4前後		2		○									兼1
	基礎化学				2		○								兼4 卒業要件外
	<b>【生物学分野】</b>														
	生物学入門	1～4前後		2		○									兼2
	教養の生物学	1～4前後		2		○									兼20
	現代生物学	1～4前後		2		○									兼7
<b>【医学分野】</b>															
教養の医学	1～4前後		2		○									兼4	
現代医学	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17	
小計（23科目）		—		42	4	—								兼23	
教養科目	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2		○										兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2		○										兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
<b>【キャリア形成】</b>															
ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
複合 領域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
	小計（46科目）	—	2	90			—								兼46
教養 科目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学	バドミントンAⅠ	1～4前後		2		○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
	雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—		72			—								兼35	
英 語	英語1	1前	1			○									兼19
	英語2	1後	1			○									兼22
	英語3	2前	1			○									兼14
	英語4	2後	1			○									兼11
	小計（4科目）	—	4			—									兼12

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前	1			○								兼7
		ドイツ語Ⅱ	1後	1			○								兼7
		フランス語Ⅰ	1前	1			○								兼3
		フランス語Ⅱ	1後	1			○								兼3
		ポルトガル語Ⅰ	1前	1			○								兼1
		ポルトガル語Ⅱ	1後	1			○								兼1
		中国語Ⅰ	1前	1			○								兼6
		中国語Ⅱ	1後	1			○								兼6
		朝鮮・韓国語Ⅰ	1前	1			○								兼1
		朝鮮・韓国語Ⅱ	1後	1			○								兼1
	小計(10科目)	—		10			—							兼10	
教養科目	日本語・日本事情	日本語DⅠ	1~4前後	1			○								兼1 留学生のみ
		日本語DⅡ	1~4前後	1			○								兼1 留学生のみ
		日本語DⅢ	1~4前後	1			○								兼1 留学生のみ
		日本事情AⅠ	1~4前後	2			○								兼1 留学生のみ
		日本事情AⅡ	1~4前後	2			○								兼1 留学生のみ
		日本事情CⅠ	1~4前後	2			○								兼1 留学生のみ
		日本事情CⅡ	1~4前後	2			○								兼1 留学生のみ
		クロスカルチャー・コミュニケーション	1~4前後	2			○								兼1 留学生のみ
	小計(8科目)	—		13			—							兼8	
教養基礎	現代テクノロジーの展開ⅠD	1後	2			○				1				兼1	
	現代テクノロジーの展開ⅡD	2前	2			○				1				兼1	
	小計(2科目)	—	4			—				2				兼2	
専門科目	工学基礎科目	解析学Ⅰ	1前	2			○								兼1
		解析学Ⅱ	1後	2			○								兼1
		代数学Ⅰ	1前	2			○								兼1
		代数学Ⅱ	1後	2			○								兼1
		力学	1前	2			○								兼1
		電磁気学	1後	2			○								兼1
		振動・波動の物理	2前	2			○			1					
		量子の物理	2前	2			○								兼1
		基礎化学	1前	2			○								兼1
		材料の化学	1後	2			○			1	1				
		生物学	2後	2			○								兼2
		地学	2後	2			○								兼1
		工学基礎実験	2前	1					○						兼2
	小計(13科目)	—	17	8			—			2	1			兼13	
専門科目	専門基礎科目	コンピュータ・プログラム	1後	2			○								兼1
		機能材料工学英語Ⅰ	3前	2			○								兼1
		機能材料工学英語Ⅱ	3後	2			○				3				
		小計(3科目)	—	6			—				3				兼2
専門科目	専門基礎科目	統計力学	2前	2			○			1					
		半導体材料学	3前	2			○				1				
		量子化学	2後	2			○								兼1
		分析化学	2前	2			○				1				
		無機化学	1後	2			○				1				
		結晶学	2前	2			○				1				
		固体物性基礎	2後	2			○				2				
		有機化学Ⅰ	2前	2			○				1				
		熱力学	1後	2			○					1			
		反応速度論	3前	2			○				1				
		材料力学	2後	2			○								兼1
		化学工学Ⅰ	2前	2			○				1				
セラミックス材料学	3後	2			○				1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手			
専門 科目	専門 基幹 科目	有機化学Ⅱ	2前	2			○			1						
		有機化学Ⅲ	2後	2			○				1					
		機能性高分子材料学	3前		2		○				1					
		機能材料演習Ⅰ	3前	1				○		1	2					
		機能材料演習Ⅱ	3後	1				○		1	2		2			
		機能材料演習Ⅲ	3後	1				○			3		1			
		応用電磁気学	2前	2				○								兼1
	小計(20科目)	—	29	8			—		9	8		3			兼3	
	専門 総合 科目	電子計測学	3前		2			○			1					
		光機能材料学	3後		2			○				1				
		磁性材料学	3後		2			○			1					
		金属材料学	3前		2			○			1					
		固体化学	3前		2			○			1					
		材料強度学	3後		2			○			1		1			
		電気化学	2前		2			○				1				
		無機材料合成	3後		2			○				1				
		機器分析	3後	2				○			1					兼1
		有機化学Ⅳ	3前		2			○			1					
		有機工業化学	3後		2			○			1	1				
		高分子合成学	2後		2			○				1				
高分子物性学		2後		2			○				1					
化学工学Ⅱ	2後		2			○			1			1				
反応工学	3後		2			○			1							
安全工学	2前		2			○								兼1		
複合材料学	3前		2			○								兼1		
機能材料工学実験Ⅰ	2後	2								3		2				
機能材料工学実験Ⅱ	3前	2							1	2		1				
機能材料工学実験Ⅲ	3後	2							1	2						
卒業研究	4通	8					○		9	8		4				
小計(20科目)	—	16	32			—		9	8		4			兼3		
総合 工学 科目	技術論	4前		1			○								兼1	
	人間工学	4前		1			○								兼1	
	品質管理	4後		1			○								兼1	
	エネルギー管理	4後		1			○								兼1	
	特許法	4前		1			○								兼1	
	工業経済	4後		2			○								兼1	
	環境科学序説	4前		2			○								兼1	
小計(7科目)	—		9			—								兼7		
金型 創成 技術 科目	金型概論	4前		2			○								兼4	
	金型設計基礎	4前		2			○								兼4	
	金型設計実習	4前		1											兼4	
	金型加工実習Ⅰ	4前		1											兼4	
	金型加工実習Ⅱ	4前		1											兼4	
	成形加工実習	4前		1											兼4	
小計(6科目)	—		8			—								兼24		
教職 科目	職業指導	4通		4			○								兼1	
	小計(1科目)	—		4			—								兼1	
合計(260科目)		—	80	415	4		—		9	8		4		兼251	—	
学位又は称号	学士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は年間68単位、2年次以降は60単位とする。</p> <p>○教養科目</p> <p>以下の条件を満たして34単位以上修得すること。</p> <p>初年次セミナー 2単位 英語 4単位 第二外国語 2単位 教養基礎 4単位</p> <p>選択科目：人文科学 6単位 社会科学 6単位 自然科学 4単位 スポーツ・健康科学 2単位 複合領域 2単位 自由選択科目 2単位</p> <p>○専門科目</p> <p>以下の条件を満たして98単位以上修得すること。</p> <p>工学基礎科目必修科目 17単位 専門基礎科目必修科目 6単位 専門基幹科目必修科目 29単位 専門総合科目必修科目 16単位</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部人間情報システム工学科)既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	ホムパス
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2	
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>														
	哲学入門	1~4前後		2		○								兼1	
	人間・死生学	1~4前後		2		○								兼7	
	近現代思想	1~4前後		2		○								兼2	
	科学論	1~4前後		2		○								兼4	
	東洋・日本思想	1~4前後		2		○								兼2	
	倫理学	1~4前後		2		○								兼1	
	宗教学	1~4前後		2		○								兼2	
	<b>【歴史学分野】</b>														
	歴史学入門	1~4前後		2		○								兼2	
	西洋・中東史	1~4前後		2		○								兼2	
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2		○								兼2	
	世界近現代史	1~4前後		2		○								兼3	
	日本史	1~4前後		2		○								兼2	
	日本近世史	1~4前後		2		○								兼1	
	日本近・現代史	1~4前後		2		○								兼2	
	民俗学・人類学	1~4前後		2		○								兼2	
	<b>【文学分野】</b>														
	文学	1~4前後		2		○								兼2	
	外国文学	1~4前後		2		○								兼3	
	日本文学	1~4前後		2		○								兼2	
	<b>【言語分野】</b>														
	言語学入門	1~4前後		2		○								兼2	
	言語学	1~4前後		2		○								兼3	
	日本語表現論	1~4前後		2		○								兼4	
	<b>【心理・行動学分野】</b>														
	心理学入門	1~4前後		2		○								兼5	
	心理学	1~4前後		2		○								兼2	
	心理学実験	1~4前後		1				○						兼1	
	障害児行動論	1~4前後		2		○								兼1	
	<b>【文化・芸術分野】</b>														
	西洋文化論	1~4前後		2		○								兼3	
日本文化論	1~4前後		2		○								兼7		
現代文化論	1~4前後		2		○								兼9		
異文化論	1~4前後		2		○								兼2		
美術論	1~4前後		2		○								兼3		
音楽論	1~4前後		2		○								兼3		
<b>【古典・総合分野】</b>															
古典を読む	1~4前後		2		○								兼3		
小計(32科目)	—		63			—								兼32	
社会科学	<b>【法学分野】</b>														
	法学入門	1~4前後		2		○								兼1	
	日本国憲法	1~4前後		2		○								兼4	
	民事法	1~4前後		2		○								兼2	
社会法	1~4前後		2		○								兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○									兼2	
	裁判法	1～4前後		2		○									兼1	
	刑事法	1～4前後		2		○									兼1	
	国際法	1～4前後		2		○									兼2	
	知的財産権法	1～4前後		2		○									兼2	
	<b>【政治学分野】</b>															
	政治学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代政治論	1～4前後		2		○									兼3	
	平和学	1～4前後		2		○									兼2	
	<b>【経営学分野】</b>															
	経済学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	経済学史	1～4前後		2		○									兼1	
	財政学	1～4前後		2		○									兼1	
	国際経済論	1～4前後		2		○									兼1	
	マクロ経済学	1～4前後		2		○									兼1	
	経営学入門	1～4前後		2		○									兼2	
	マネージメント論	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【社会学分野】</b>															
	社会学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代社会論	1～4前後		2		○									兼13	
	メディア論	1～4前後		2		○									兼2	
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○									兼5	
	<b>【地理・地域論分野】</b>															
	地理学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	地理学	1～4前後		2		○									兼3	
	地域論	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【教育学分野】</b>															
	教育論	1～4前後		2		○									兼9	
	<b>【社会・総合】</b>															
	社会総合	1～4前後		2		○									兼6	
	小計（28科目）		—		56		—									兼28
	自然科学	<b>【数学分野】</b>														
教養の数学		1～4前後		2		○									兼2	
基礎代数学		1～4前後		2		○									兼2	
基礎解析学		1～4前後		2		○									兼3	
基礎統計学		1～4前後		2		○									兼1	
<b>【物理学分野】</b>																
物理学入門		1～4前後		2		○									兼2	
教養の物理学		1～4前後		2		○									兼10	
現代物理学		1～4前後		2		○									兼1	
基礎物理学					2		○								兼1	卒業要件外
<b>【化学分野】</b>																
教養の化学		1～4前後		2		○									兼14	
現代科学		1～4前後		2		○									兼1	
基礎化学					2		○								兼4	卒業要件外
<b>【生物学分野】</b>																
生物学入門		1～4前後		2		○									兼2	
教養の生物学		1～4前後		2		○									兼20	
現代生物学		1～4前後		2		○									兼7	
<b>【医学分野】</b>																
教養の医学	1～4前後		2		○									兼4		
現代医学	1～4前後		2		○									兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17 集中	
小計（23科目）	—		42	4		—								兼23	
教養科目	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2			○									兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2			○									兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2			○									兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2			○									兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
	<b>【キャリア形成】</b>														
	ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
複合 領域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
	小計（46科目）	—	2	90			—								兼46
教養 科目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学	バドミントンAⅠ	1～4前後		2		○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
	雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—		72			—								兼35	
英 語	英語1	1前	1			○									兼19
	英語2	1後	1			○									兼22
	英語3	2前	1			○									兼14
	英語4	2後	1			○									兼11
	小計（4科目）	—	4			—									兼12

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前	1			○								兼7	
		ドイツ語Ⅱ	1後	1			○								兼7	
		フランス語Ⅰ	1前	1			○								兼3	
		フランス語Ⅱ	1後	1			○								兼3	
		ポルトガル語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		ポルトガル語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
		中国語Ⅰ	1前	1			○								兼6	
		中国語Ⅱ	1後	1			○								兼6	
		朝鮮・韓国語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		朝鮮・韓国語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	小計(10科目)	—		10			—								兼10	
	日本語・日本事情	日本語DⅠ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
		日本語DⅡ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
日本語DⅢ		1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ	
日本事情AⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情AⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
クロスカルチャー・コミュニケーション		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
小計(8科目)	—		13			—								兼8		
教養基礎	現代テクノロジーの展開ⅠD	1後	2			○				1				兼1		
	現代テクノロジーの展開ⅡD	2前	2			○				1				兼1		
	小計(2科目)	—	4			—				2				兼2		
専門科目	工学基礎科目	解析学Ⅰ	1前	2			○								兼1	
		解析学Ⅱ	1後	2			○								兼1	
		代数学Ⅰ	1前	2			○					1				
		代数学Ⅱ	1後	2			○								兼1	
		力学	1前	2			○				1					
		電磁気学	1後	2			○								兼1	
		振動・波動の物理	2後	2			○								兼1	
		量子の物理	3後	2			○								兼1	
		基礎化学	1前	2			○								兼1	
		材料の化学	3後	2			○								兼1	
		生物学	3前	2			○								兼1	
		地学	1後	2			○								兼1	
		工学基礎実験	2前	1					○				1			
	小計(13科目)	—	11	14			—			1		2		兼10		
	専門基礎科目	微分方程式	2前		2			○			1					
		確率・統計	2後		2			○				1				
		人間情報工学実験Ⅰ	2後	1							1					
人間情報工学実験Ⅱ		3前	1								5		2			
人間情報工学実験Ⅲ		3後	1							6			2			
プログラミング論・演習Ⅰ		2後	1.5				○						1			
プログラミング論・演習Ⅱ		3前	1.5				○						1			
応用数学演習		1後	1				○						1			
Technical EnglishⅠ		3前	2				○							兼1		
Technical EnglishⅡ		3後	2				○			1						
小計(10科目)	—	11	4			—			6	7		5		兼1		
専門基礎科目	信号情報処理	2後		2			○						1			
	人間情報計測工学	2前		2			○				1					
	情報ネットワーク	3前		2			○				1					
	情報工学基礎	1前	2				○				1					
	計算機システム	2前		2			○			1	1					
	システムデザイン基礎・演習	2前	2					○						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 基幹科目	システム材料力学	2後		2		○									兼1
	システムダイナミクス基礎	1後	2			○			1						
	システム制御工学基礎	2前	2			○				1					
	サーモダイナミクスⅠ	2前		2		○			1						
	サーモダイナミクスⅡ	2後		2		○			1						
	電気回路システム	2後	2			○			1						
	システム電磁気学	2前		2		○				1					
	電子回路システム	3前		2		○									兼1
	機械システム制御設計	2後	2			○				1					
	デジタル信号処理	3前		2		○					1				
	シミュレーション工学	3後		2		○			1						
	視覚情報処理	3後		2		○			1						
	知能ロボット工学	3後		2		○			1						
	インテリジェントドライブシステム	3前		2		○			1						
	メカトロシステム基礎	2後		2		○				1					
小計(21科目)	—	—	12	30			—	6	7		1			兼3	
専門 総合科目	人間情報安全工学	2後		2		○									兼1
	ヒューマンインターフェイス	3後		2		○									兼1
	生体システム工学	3後		2		○				1					
	メカトロシステム設計	3前		2		○			1						
	流体システム工学	3前		2		○			1						
	現代制御工学	3前		2		○			1						
	パターン認識	3後		2		○									兼1
	宇宙推進システム工学	3後		2		○				1					
	パワーエレクトロニクス制御	3後		2		○				1					
	メカニカルダイナミクス	2前		2		○				1					
	卒業研究	4通	8					○	6	7		5			
小計(11科目)	—	—	8	20			—	6	7		5			兼3	
総合 工学科目	技術論	4前		1		○									兼1
	人間工学	4前		1		○									兼1
	品質管理	4後		1		○									兼1
	エネルギー管理	4後		1		○									兼1
	特許法	4前		1		○									兼1
	工業経済	4後		2		○									兼1
	環境科学序説	4前		2		○									兼1
	小計(7科目)	—	—	9			—								兼7
金型 創成 技術 科目	金型概論	4前		2		○									兼4
	金型設計基礎	4前		2		○									兼4
	金型設計実習	4前		1											兼4
	金型加工実習Ⅰ	4前		1											兼4
	金型加工実習Ⅱ	4前		1											兼4
	成形加工実習	4前		1											兼4
	小計(6科目)	—	—	8			—								兼24
教職 科目	職業指導	4通		4		○									兼1
	小計(1科目)	—	—	4			—								兼1
合計(259科目)		—	54	435	4		—	6	7		5			兼247	—
学位又は称号	学士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は年間68単位、2年次以降は60単位とする。</p> <p>○教養科目</p> <p>以下の条件を満たして34単位以上修得すること。</p> <p>初年次セミナー 2単位 英語 4単位 第二外国語 2単位 教養基礎 4単位</p> <p>選択科目：人文科学 6単位 社会科学 6単位 自然科学 4単位 スポーツ・健康科学 2単位 複合領域 2単位 自由選択科目 2単位</p> <p>○専門科目</p> <p>以下の条件を満たして98単位以上修得すること。</p> <p>工学基礎科目必修科目 11単位を含み15単位 専門基礎科目必修科目 11単位 専門基幹科目必修科目 12単位を含み30単位 専門総合科目必修科目 8単位を含み18単位</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部数理デザイン工学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次セミナー	初年次セミナー	1前	2			○			4	3				兼2	ホムパス
	小計(1科目)	—	2			—			4	3				兼2	
教養科目 人文科学	<b>【哲学分野】</b>														
	哲学入門	1~4前後		2		○									兼1
	人間・死生学	1~4前後		2		○									兼7
	近現代思想	1~4前後		2		○									兼2
	科学論	1~4前後		2		○									兼4
	東洋・日本思想	1~4前後		2		○									兼2
	倫理学	1~4前後		2		○									兼1
	宗教学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【歴史学分野】</b>														
	歴史学入門	1~4前後		2		○									兼2
	西洋・中東史	1~4前後		2		○									兼2
	中国・朝鮮半島史	1~4前後		2		○									兼2
	世界近現代史	1~4前後		2		○									兼3
	日本史	1~4前後		2		○									兼2
	日本近世史	1~4前後		2		○									兼1
	日本近・現代史	1~4前後		2		○									兼2
	民俗学・人類学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【文学分野】</b>														
	文学	1~4前後		2		○									兼2
	外国文学	1~4前後		2		○									兼3
	日本文学	1~4前後		2		○									兼2
	<b>【言語分野】</b>														
	言語学入門	1~4前後		2		○									兼2
	言語学	1~4前後		2		○									兼3
	日本語表現論	1~4前後		2		○									兼4
	<b>【心理・行動学分野】</b>														
	心理学入門	1~4前後		2		○									兼5
	心理学	1~4前後		2		○									兼2
	心理学実験	1~4前後		1				○							兼1
	障害児行動論	1~4前後		2		○									兼1
	<b>【文化・芸術分野】</b>														
	西洋文化論	1~4前後		2		○									兼3
日本文化論	1~4前後		2		○									兼7	
現代文化論	1~4前後		2		○									兼9	
異文化論	1~4前後		2		○									兼2	
美術論	1~4前後		2		○									兼3	
音楽論	1~4前後		2		○									兼3	
<b>【古典・総合分野】</b>															
古典を読む	1~4前後		2		○									兼3	
小計(32科目)	—		63			—								兼32	
社会科学	<b>【法学分野】</b>														
	法学入門	1~4前後		2		○									兼1
	日本国憲法	1~4前後		2		○									兼4
	民事法	1~4前後		2		○									兼2
社会法	1~4前後		2		○									兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考													
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手														
教養科目	ジェンダー法	1～4前後		2		○																			兼2		
	裁判法	1～4前後		2		○																			兼1		
	刑事法	1～4前後		2		○																			兼1		
	国際法	1～4前後		2		○																			兼2		
	知的財産権法	1～4前後		2		○																			兼2		
	<b>【政治学分野】</b>																										
	政治学入門	1～4前後		2		○																				兼1	
	現代政治論	1～4前後		2		○																				兼3	
	平和学	1～4前後		2		○																				兼2	
	<b>【経営学分野】</b>																										
	経済学入門	1～4前後		2		○																				兼2	
	経済学史	1～4前後		2		○																				兼1	
	財政学	1～4前後		2		○																				兼1	
	国際経済論	1～4前後		2		○																				兼1	
	マクロ経済学	1～4前後		2		○																				兼1	
	経営学入門	1～4前後		2		○																				兼2	
	マネージメント論	1～4前後		2		○																				兼1	
	<b>【社会学分野】</b>																										
	社会学入門	1～4前後		2		○																					兼1
	現代社会論	1～4前後		2		○																					兼13
	メディア論	1～4前後		2		○																					兼2
	広報・PR論入門	1～4前後		2		○																					兼5
	<b>【地理・地域論分野】</b>																										
	地理学入門	1～4前後		2		○																					兼1
	地理学	1～4前後		2		○																					兼3
	地域論	1～4前後		2		○																					兼1
	<b>【教育学分野】</b>																										
	教育論	1～4前後		2		○																					兼9
<b>【社会・総合】</b>																											
社会総合	1～4前後		2		○																					兼6	
小計（28科目）		—		56		—																			兼28		
自然科学	<b>【数学分野】</b>																										
	教養の数学	1～4前後		2		○																				兼2	
	基礎代数学	1～4前後		2		○																				兼2	
	基礎解析学	1～4前後		2		○																				兼3	
	基礎統計学	1～4前後		2		○																				兼1	
	<b>【物理学分野】</b>																										
	物理学入門	1～4前後		2		○																				兼2	
	教養の物理学	1～4前後		2		○																				兼10	
	現代物理学	1～4前後		2		○																				兼1	
	基礎物理学			2		○																				兼1	卒業要件外
	<b>【化学分野】</b>																										
	教養の化学	1～4前後		2		○																					兼14
	現代科学	1～4前後		2		○																					兼1
	基礎化学			2		○																				兼4	卒業要件外
	<b>【生物学分野】</b>																										
	生物学入門	1～4前後		2		○																					兼2
	教養の生物学	1～4前後		2		○																					兼20
	現代生物学	1～4前後		2		○																					兼7
<b>【医学分野】</b>																											
教養の医学	1～4前後		2		○																					兼4	
現代医学	1～4前後		2		○																					兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	<b>【宇宙地球科学分野】</b>														
	宇宙地球科学入門	1～4前後		2		○									兼3
	教養の宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	現代宇宙地球科学	1～4前後		2		○									兼2
	<b>【環境学分野】</b>														
	教養の環境学	1～4前後		2		○									兼14
	現代環境学	1～4前後		2		○									兼18
	<b>【自然科学総合分野】</b>														
	自然科学総合	1～4前後		2		○									兼7
	<b>【実験講座分野】</b>														
自然科学実験講座	1～4前後		2		○									兼17 集中	
小計（23科目）	—		42	4		—								兼23	
教養科目	<b>【情報と数理】</b>														
	ITの歴史と未来	1～4前後		2		○									兼1
	数値シミュレーション入門	1～4前後		2		○									兼1
	情報分野における数学の活用	1～4前後		2		○									兼3
	情報と物理	1～4前後		2		○									兼3
	ものの科学	1～4前後		2		○									兼1
	心を持つロボット	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【生活と科学】</b>														
	生活・命と看護	1～4前後		2		○									兼3
	社会の中の看護	1～4前後		2		○									兼5
	食の教養	1～4前後		2		○									兼1
	栄養と運動	1～4前後		2		○									兼1
	生きた健康科学	1～4前後		2		○									兼10
	交通安全の科学	1～4前後		2		○									兼8
	医療と生命 I	1～4前後		2		○									兼2
	医学史	1～4前後		2		○									兼12
	健康とQOL	1～4前後		2		○									兼5
	身近な薬と毒の科学	1～4前後		2		○									兼2
	世界の農業事情	1～4前後		2		○									兼5
	生物共生論	1～4前後		2		○									兼3
	現代医療の最前線	1～4前後		2		○									兼14
	<b>【岐阜学】</b>														
	岐阜県の生活と文化	1～4前後		2		○									兼7
	岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2		○									兼3
	現代のまちづくりと住民	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2		○									兼14
	地域活性化システム論（まちづくりリーダー養成講座）	1～4前後		2		○									兼11
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1～4前後		2		○									兼3
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2		○									兼1
	御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2		○									兼4
	岐阜県の方言	1～4前後		2		○									兼1
	岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2		○									兼4
	<b>【倫理と現代】</b>														
	技術と技術者の倫理 I	3前	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 II	3前	2		○										兼14
	技術と技術者の倫理 III	3後	2		○										兼8
	技術と技術者の倫理 IV	3後	2		○										兼11
	環境倫理学	1～4前後		2		○									兼1
	性	1～4前後		2		○									兼6
	<b>【キャリア形成】</b>														
	ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1～4前後		2		○									兼10

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
複合 領域	自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2		○									兼5
	自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2		○									兼2
	職業意識概論	1～4前後		2		○									兼1
	現代社会を支える企業	1～4前後		2		○									兼1
	私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2		○									兼1
	社会人として生きるとは	1～4前後		2		○									兼6
	社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2		○									兼6
	生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2		○									兼1
	地域協働型インターンシップ	1～4前後		2		○									兼2
	小計（46科目）	—	2	90			—								兼46
教養 科目	<b>【健康科学講義】</b>														
	スポーツと傷害予防	1～4前後		2		○									兼11
	健康科学（運動・栄養・休養と健康）	1～4前後		2		○									兼5
	健康科学	1～4前後		2		○									兼11
	スポーツトレーナーの科学（含実習）	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【スポーツ演習】</b>														
	スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2			○								兼1
	ソフトボールBⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2			○								兼1
	太極拳	1～4前後		2			○								兼2
	ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2			○								兼1
	卓球	1～4前後		2			○								兼5
	卓球・水泳	1～4前後		2			○								兼4
	新卓球（ラージボール）	1～4前後		2			○								兼2
	テニスⅠ	1～4前後		2			○								兼1
	テニスⅡ	1～4前後		2			○								兼4
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学	バドミントンAⅠ	1～4前後		2		○								兼1
	ハンドボール	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅣ	1～4前後		2			○								兼1
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2			○								兼1
	バスケットボールA	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2			○								兼1
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーA	1～4前後		2			○								兼1
	女子サッカーB	1～4前後		2			○								兼1
	サッカー	1～4前後		2			○								兼1
	ラグビー	1～4前後		2			○								兼1
	ジョギングⅡ	1～4前後		2			○								兼1
	トレーニング	1～4前後		2			○								兼1
	水泳	1～4前後		2			○								兼4
	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	1～4前後		2			○								兼1
	雪上スポーツで学ぶ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	雪上スポーツで学ぶⅡ（スキー）	1～4前後		2			○								兼6
	剣道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1
柔道Ⅰ	1～4前後		2			○								兼1	
柔道Ⅲ	1～4前後		2			○								兼1	
小計（36科目）	—		72			—								兼35	
英 語	英語1	1前	1			○									兼19
	英語2	1後	1			○									兼22
	英語3	2前	1			○									兼14
	英語4	2後	1			○									兼11
	小計（4科目）	—	4			—									兼12

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前	1			○								兼7	
		ドイツ語Ⅱ	1後	1			○								兼7	
		フランス語Ⅰ	1前	1			○								兼3	
		フランス語Ⅱ	1後	1			○								兼3	
		ポルトガル語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		ポルトガル語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
		中国語Ⅰ	1前	1			○								兼6	
		中国語Ⅱ	1後	1			○								兼6	
		朝鮮・韓国語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
		朝鮮・韓国語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	小計(10科目)	—		10			—								兼10	
	日本語・日本事情	日本語DⅠ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
		日本語DⅡ	1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ
日本語DⅢ		1~4前後		1			○							兼1	留学生のみ	
日本事情AⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情AⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅠ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
日本事情CⅡ		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
クロスカルチャー・コミュニケーション		1~4前後		2		○								兼1	留学生のみ	
小計(8科目)	—		13			—								兼8		
教養基礎	現代テクノロジーの展開ⅠD	1後	2			○				1				兼1		
	現代テクノロジーの展開ⅡD	2前	2			○				1				兼1		
	小計(2科目)	—	4			—				2				兼2		
専門科目	工学基礎科目	解析学Ⅰ	1前	2			○			1						
		解析学Ⅱ	1後	2			○				1					
		代数学Ⅰ	1前	2			○				1					
		代数学Ⅱ	1後	2			○					1				
		力学	1前	2			○				1					
		電磁気学	1後	2			○			1						
		振動・波動の物理	1後	2			○				1					
		量子の物理	2前	2			○			1						
		基礎化学	3前	2			○								兼1	
		材料の化学	3後	2			○								兼1	
		生物学	3後	2			○								兼1	
		地学	2前	2			○								兼1	
		工学基礎実験	2後	1					○		1					
	小計(13科目)	—	15	10			—			3	5		1		兼4	
	専門基礎科目	幾何学	1前	2			○			1						
		ベクトル解析	2前	2			○			1						
		微分方程式Ⅰ	2前	2			○			1						
		計算数理セミナー	2後	2			○			1						
		解析力学	2前	2			○				1					
剛体力学		1後	2			○			1							
工学英語Ⅰ		3前	2			○								兼1		
工学英語Ⅱ		3後	2			○				3						
小計(8科目)	—	16			—			5	4				兼1			
専門基幹科目	応用数学	2後	2			○			1							
	微分方程式Ⅱ	2後	2			○			1							
	確率・統計	2後	2			○				1						
	数値解析	2前	2			○				1						
	応用電磁気学	2前	2			○			1							
	熱統計力学	2前	2			○			1							
	量子力学	2後	2			○				1						
	物質科学Ⅰ	3前	2			○			2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	光エレクトロニクス	3前		2		○			1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3
	機械システム概論	2前		2		○			1						
	流体力学	3前		2		○			1						
	制御工学	2後		2		○									
	固体力学	2前		2		○			1						
	材料学	2後		2		○			1						
	数理計測工学	3前		2		○				1					
	数理デザインプログラム基礎Ⅰ	1前	2			○			1						
	数理デザインプログラム基礎Ⅱ	1後	2			○				1		1			
	数理デザインプログラム応用Ⅰ	2前	2			○				1		1			
	数理デザインプログラム応用Ⅱ	2後	2			○				1					
	科学計算プログラムⅠ	3前	2			○			1						
	科学計算プログラムⅡ	3後	2			○			1						
	小計(21科目)	—	16	26					8	8		2			
	専門総合科目	数理計画	3前		2		○				1				
応用解析学		3後		2		○			1						
多変量解析		3前		2		○			1						
基礎数学演習Ⅰ		1前	1				○				1				
基礎数学演習Ⅱ		1後	1				○				1				
力学演習		1前	1				○			1					
電磁気学演習		1後	1				○		1						
電気・電子回路		2後		2		○									
物質科学Ⅱ		3後		2		○			1						
電子デバイス工学		3後		2		○			1						
ナノスケール工学		4前		2		○				1					
構造解析学		2後		2		○			1						
有限要素法		3後		2		○				1					
プラズマ工学概論		3後		2		○					1				
マイクロマシン工学		3前		2		○			1						
バーチャルデザイン		3前		2		○									
CAD/CAE		3後		2		○				1					
安全工学		3後		2		○			1						
現象の数理モデル	3前		2		○			1							
数理デザイン工学セミナー	3後		2		○			1							
卒業研究	4通	8					○	8	9		3				
小計(20科目)	—	12	32					8	9		3				
総合工学科目	技術論	4前		1		○								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
	人間工学	4前		1		○									
	品質管理	4後		1		○									
	エネルギー管理	4後		1		○									
	特許法	4前		1		○									
	工業経済	4後		2		○									
	環境科学序説	4前		2		○									
	小計(7科目)	—		9											
金型創成技術科目	金型概論	4前		2		○								兼4 兼4 兼4 兼4 兼4 兼4	
	金型設計基礎	4前		2		○									
	金型設計実習	4前		1											
	金型加工実習Ⅰ	4前		1											
	金型加工実習Ⅱ	4前		1											
	成形加工実習	4前		1											
小計(6科目)	—		8												
教職科目	職業指導	4通		4		○								兼1 兼1	
	小計(1科目)	—		4											
合計(266科目)		—	71	435	4				8	9		3		兼244	

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
教養科目と専門科目のそれぞれの条件を満たし、合計して132単位以上修得すること。ただし、履修科目の登録の上限は1年次は年間68単位、2年次以降は60単位とする。 ○教養科目 以下の条件を満たして34単位以上修得すること。 初年次セミナー 2単位 英語 4単位 第二外国語 2単位 教養基礎 4単位 選択科目：人文科学 6単位 社会科学 6単位 自然科学 4単位 スポーツ・健康科学 2単位 複合領域 2単位 自由選択科目 2単位 ○専門科目 以下の条件を満たして98単位以上修得すること。 工学基礎科目必修科目 15単位 専門基礎科目必修科目 16単位 専門基幹科目必修科目 14単位を含み24単位 専門総合科目必修科目 18単位を含み28単位		1 学年の学期区分	2 学期
		1 学期の授業期間	1 5 週
		1 時限の授業時間	9 0 分